京城日報

(年中無休刊)
定價 一部金參錢 一箇月前金七十五錢▲郵税拾五錢▲參箇月前金貳圓六拾錢▲六箇月同五圓廿錢▲壹箇年同拾圓▲郵券代用二割增
廣告料 五號十四字詰一行一圓五號同特別二圓▲二號七字詰同二圓▲三號八字詰同二圓▲四號九字詰同一圓五十錢六號十六字詰金一圓
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 二長六千九番 振替京城三〇〇番

八月二十五日夕刊 (朝刊併せて八頁)

新借款問題討議 近く米國に照會を發せん

帝國政府の新借款團に對する滿蒙除外の決議其の經過及び今後の方針に就き駐日莊代理公使より詳細なる電報十八日國務院に到達せるより國務院は之を徐總統に呈し徐總統は更に總統府外交委員會に交附せられたるを以て外交委員會にては委員會を開催し新借款團對日本の態度に就き研究討論せるが梁士詒系の委員某々は日本の滿蒙除外主張を撤回せしめ然る後支那も亦新借款團の一員として加入を要求すべしと唱へ他の委員の多くは須らく強硬なる態度を持し極力新借款團に對抗すべしと主張し結局新借款團の現在の状況に就き米國に向け近く照會を發することに決定せり(北京電報)

山東問題質問

衆議院議員陳某は北京政府に對し左の如き意味の質問書を提出せり(北京電報)

政府は近來山東問題に關し日本と秘密交渉を爲し且つ巴里委員に對してベルサイユ條約に追調印を爲すべしと訓電せりと傳へらる國民は是れを聞き奇怪の事なりとなす政府は又日本と直接抗爭の決心あること疑ひ無しとせば正に聲明して國民に安心せしむべきなり且つ山東問題に對する條約修正を爲さざる限り追調印をなすの理由なし

米軍墨國境通過

米國軍隊は墨西哥國境を通過し米國中尉二名を身請金を得る迄捕へたる山賊を追擊しつゝあり而して一飛行機は右軍隊を案内し他の一飛行機は偵察飛行を爲しつゝあり(華盛頓電報)

墨大使 米軍引揚要求

駐米墨西哥大使は米軍の墨國引揚を要求せり(華盛頓電報)

園侯著京 官民多數の出迎

我講和全權委員西園寺侯は奈良陸軍中將、竹下海軍中將、佐分利外務省書記官、西園寺八郎氏同夫人、副井菊三郎氏等を從へ二十四日午後八時二十五分東京驛に到着したるが侯は出發の際に比し一層元氣を增し途中迄出迎へたる原首相内田外相高橋藏相其他と相携へて下車したるが驛には外交團各大公使各大臣海軍元帥齋藤朝鮮總督水野政務總監樞府顧問官貴衆兩院議長其他陸海軍の將星貴衆兩院議員官民各方面の代表者等三千餘名出迎へ歡呼の聲を浴びつゝ駿河臺の自邸に入れり(東京特電||延着)

陳述書發表

西園寺侯は途中迄出迎へたる東京記者團に對し疲勞の故を以て何事も語らざりしが近く陛下に伏し講和會議の經緯を奏上したる後一大陳述書を發表すべしと(東京特電)

總督謁宴

齋藤朝鮮總督水野政務總監は二十三日夜築地精養軒に福田參謀次長栃内海軍次官横田法制局長官古賀拓殖局長官小橋内務次官二上樞府書記官長島村軍令部長其の他今回の官制改正に關係ありたる内閣樞密院拓殖局法制局内務省大藏省陸軍省海軍省參謀本部海軍軍令部等の局長高等官等を招待し慰勞の宴を張りたるが齋藤總督の挨拶に次いで栃内中將の乾盃ありて主客歡談午後九時散會せり尚ほ二十四日は午後六時より同じく阪谷芳郎男桑木嚴翼博士吉野作造博士小崎弘道綱島榮吉氏等其の他學界宗教界にて朝鮮問題を研究せる名士二十餘名を招き席上腹藏無き意見の交換を行ひたり(東京特電||延着)

英國植民地海軍計畫

太平洋上の對米爭覇戰 英國海軍は戰前濠洲、加奈陀、新西蘭其他各植民地の海軍擴張計畫を樹立し先づ濠洲海軍の獨立を計ることに決し千九百十二年ヘンダーソン提督を濠洲に派遣し調査せしめたる結果戰艦及び輕巡洋艦三隻驅逐艦六隻より成る勢力を以て其海軍を獨立せしめたるも這次

大戰勃發

の爲め其の他の計畫に頓挫を來たし且つ濠洲海軍は英帝國大艦隊司令長官の指揮に屬せるが戰爭終了後英國は新編成替を斷行し東洋派遣艦隊の勢力增加を計り同時に濠洲海軍にも再び其獨立を許し尚最近戰時中の貢獻に酬ゆる意味を以て新造潛水艦六隻を贈與するに至りしが英本國に於ては戰後の新計畫樹立の爲めゼエリコー提督をして各植民地の海軍視察を爲さしむることゝなり同提督は近く新西蘭海軍艦隊の旗艦たるべきニュージーランドに搭乘既に

濠州海軍

の調査を終了し歸途加奈陀海軍の視察を爲す豫定なる趣なるが同提督の調査報告により戰前の計畫を繼續するや將又新計畫を立つるや擬想し難きも英國の輿論及び諸種の情報を綜合するに太平洋に於ける情況は戰前より著しく變化を來たし居れば恐らく各植民地海軍力の增加を計ることとなるべく推せらる然れども戰後再び獨立せる濠洲海軍は新潛水艦六隻を加へ其勢力を增大せるも由來濠洲は國土の廣大なるに比し

人口稀薄

なる上金銀等の天産物及び羊毛の產出多く人民一般に軍事上に冷淡にして軍艦建造の如き不生產的のものに巨費を投ずるを避んとする氣風あり加奈陀も亦千九百十四年自由黨内閣の總理にして親佛派たりしローリエー氏により其海軍の獨立擴張唱道せられたるも久しからずして自由黨失脚し保守黨のボーデン氏其後を襲ひたるが同氏は親英派たりし爲め加奈陀は未だ獨立海軍を有する程度に達せざる爲め自國の獻金により軍艦を建造し自國の保護は英本國の海軍に委するの政策を執り今日に至り新西蘭亦加奈陀同樣未だ其

海軍獨立

を必要とせざる者の如くなるも過般米國海軍は其全海軍を二等分し太平洋に優勢なる大艦隊を配備するに至りしため英國海軍は之に對抗すべく同方面各植民地海軍の勢力增加を計らざる可らざるに立至りしを以て加奈陀海軍の擴張

百五十浬

の地點に手ーピスベーあるも前者は灣内屈曲し商船の碇泊に適するも軍艦の泊地として不便あり後者は只海軍兵學校あるのみなれば戰後委任統治をなすべきニューキニアに海軍貯炭場の設備を施す事となるべしとの說あり

により南方根據地としてシドニー及び同地するに至るべし尚濠洲海軍は其戰に優越なる地位を獲得せんとを計ると共に更に濠洲海軍の勢力を增加し太平洋に於る海上權力の爭覇を試み戰後東亞の經濟

總督以下著期

齋藤新總督水野新政務總監一行は一日釜山着一泊の上二日午前六時過ぎ同地發特別列車にて午後四時過ぎ入城の由なるが赤池內務西村殖產柴田學務野口警務各局長守屋伊藤兩秘書官も同行すべしと

新總督總監と兩元帥

神田水産課長談

新任總督府水產課長神田純一氏は二十四日夜東京より歸來せるが氏は語りて曰く這回の總督府官制改正並に新幹部の任命に對しては內地の輿論は一般に好感を以て迎へ居れり殊に齋藤總督は人も知る如く武辨とは云へ大佐時代より海軍次官を勤め後大臣となり政治的手腕も充分なるが之れに配するに事務練達の水野總監を以てしたるは世人の推稱する所なり予は新總督政務總監に面會せるが非常の元氣に見受けたり水野政務總監の如き既に連日總督府東京出張所に出勤し直接事務に鞅掌されつゝあり尚長谷川元帥は老來益々元氣にて持病の糖尿病も昨今は餘程好く又寺内元帥にも面談の機を得たるが元帥の病狀は未だ全く快復せりとは云ふ可からず近來は心臟に異常ある爲め臥床し居れり云々

旱害善後策如何

殖銀東拓大地主等の講究

最近の降雨

並に今後の降雨如何によりその程度に多少の差は來すべしと雖忠淸道以西の水田並に畑作が著しき旱害を受くる事は到底避くべからず從つて被害地に於ける細民の食料問題並に救濟問題を如何にすべきか旱害善後策を如何にするかは今後注目すべき重要問題たり此點に就ては總督府に於ても相當の講究を爲し又被害各道に於ても應急策につき考慮し既に平安南道の如きは實行に着手したる由なるが朝鮮殖產銀行東洋拓殖會社並に地方の大地主も夫々相當對策を執り

地方の救濟

に力を盡さんとしつゝあり殖產銀行にては過般行內に旱害調査委員會を組織し調査勸業金融營業審査その他の關係各課員を委員とし委員長には高久調査課長を選任し先づ各地旱害狀況の實際を精査の上何等か救急案を執らんとするもの、如し尤も銀行は慈善機關にあらざるにつき細民に對し直接資金の貸附をなす如き事は素より不可能なれど地主に對しては土地を擔保とする低利資金を供給して地方を賑す如き事は差向き銀行の出づべき方策ならん 又東洋拓殖會社にては各出張所よりその管內の小作にして著しき旱害を受けしものには現金若くは物品を貸附してその急を救ふ事となさんとの議あり京城支店殖產課にて調査を進め居れるにつき何等かの方法を以て具體化し來るべし又地方地主階級は一般に一昨年より昨年に亘れる作況好く殊に穀價高値なりしため何れも懷具合惡からざるにつき東拓と略ぼ同樣の方法にて天災に惱む小作の窮狀を救はんとする計畫も漸次生れ來るべし尚は不作地の不景氣は

勢ひ避くべ

からざるが自然地價の墜落を來しその虞につけ込み土地の兼併を試むるものの出で來るやも計られず此種の火事泥的行爲は當局に於て多少取締の必要あるべしと說くものもあり

官鹽生産高

大正八年四月一日より同年八月十五日に至る鹽生產狀況を聞くに廣梁灣及び朱安州鹽田に於ける本年度豫定總生產高八千八百八萬四千三百斤なるに對し當期間生產高は六千百五十一萬九千五百五十斤にして豫定總高に對し七割の生產に相當すと

臺灣米代用

仁川取引所の協議

仁川取引所にては臺灣米を提供し代用になさんと申出でたる者あるにつき若松社長は二十三日午後一時より各仲買人を招集し格付範圍の協議をなしたるが右は同所營業規則によれば臺灣米は代用米として受渡しに充當し得る事となり居れど仁川取引所にては開始以來今日まで一回も之れを代用せし事なきにつき議論百出して何等纏まりたる協調成らざりしと

鮮米委托販賣手數料低減

大阪鮮滿貿易商同業組合は本月二十五日より十月三十一日迄米價調節の一策として鮮米委託販賣手數料を千分の五に低減したる旨京城商業會議所に宛て當業者に移牒方依頼し來れり

京城現株追願

資本金二百萬圓 取引所名を撤廢

釘本藤次郎氏を發起人總代とし全鮮主要地の有力者發起人となり六月會社令により許可を出願せし資本金一百萬圓の京城現株取引所は目下總督府に於て許否につき審議中なるがその後發起人側にては各種の關係より京城現株取引所の名義を不可なりとし又延取引は現狀に於て容易に當局の認諾を受け得ざる事を察知し營業細則に於て之れを削除する事となり結局現株取引市場と改稱し又資本金一百萬圓にては首都の現株市場として不十分なるにつき之を二百萬圓に增額する事となり十八日京城府廳を經て追願書を總督府に提出せり

某發起人談

右につき發起人の某氏は曰く現株市場の設立は株式公定建値の必要は今日の朝鮮にとつて何も今更ら絮說を要しない如何に京城に於て現株の賣買が多いかと云ふ事は市中の現株店十軒を算し日々相當數の賣買の行はれてる事で分る然し現在のやうでは確實な賣買は極めて少く現株の賣買上一般の利益は大に殺がれてる此の缺陷を現株市場は除去し朝鮮の株式公定相場を建てたいのである尚ほ總督府新幹部の意向一つでは現株市場を今一歩進んだものとしたい考へも有つてゐるのであるが今日に於ては止むを得ず當局の意向に副ふた內容として追願をした譯である

全鮮棉花協議會

全鮮棉花協議會は二十五日午前八時より總督府第二會議室に於て棧田農務課技師統裁の下に開會棉花に關し協議し正午散會す

京畿金融組合狀況

七月末日現在に於ける京畿道管內金融組合の資產及び負債狀況を聞くに村落市街地組合總數合計三十四組合員數一萬四千四百五十四名にして資產に屬する主なるものは出資金拂込未濟一萬七千餘圓貸付金十九萬五千餘圓預金五萬五千餘圓合計二十六萬七千圓負債勘定の主なるものは出資金三十四萬七千餘圓政府下附金二十五萬八千餘圓積立金七萬五千餘圓借入金六十二萬一千餘圓、預かり金二十六萬五千餘圓合計百五十六萬五千餘圓なり之を前月末日現在に比するに組合數は增減なきも組合員數は八百九十二名を增し資產勘定にて十五萬七千餘圓負債勘定にて十萬六千餘圓を增加せり

土調事務局長

二十日附を以て總督府高等土地調査委員會事務局長後任左の通任命ありたり

總督府財務局長 河內山樂三
總督府高等土地調査委員會事務局長を命ず

前長官等送別會

二十五日午後七時より朝鮮ホテルに於て今回退官或は轉任せる宇佐美、小原、鈴木前三長官荻田前局長久水、久芳前兩課長選賢東京府事務官等の爲め官民聯合の送別會を催せり

財界閑話

殖產銀行の第一次公募債券も頗る好い成績である△同行の重役は何しろ初めての債券賣出しであるから余程何彼に心を勞したらしいが案ずるより生むが安しで應募は押すなくの盛況△これで殖產債券の市場價値もついた譯、同行は今後資金の必要に應じ債券を出さうと云ふのだから幸先もよかつたと東上してゐる理事の有賀君は謹直な面上に笑みを上せてゐるであらう△戰時中わが海運界が船舶によつて外國から收めた金額が何程であるかと云ふに十億圓と云ふ巨額に上る△その內譯は船舶收入二億圓傭船料收入二億餘萬圓、運賃收入六億餘萬圓に達してゐる△戰時利益は船舶と紡績とを以て兩大關となすが何しろ大したものである△朝鮮人勞働者の盟休を時々見るのはどうもよくない傾向である△勞銀の低廉それが動機である經濟問題ではあるが此の一條件を鮮人業界の利益に反しないため惜しい事だ某有力者は語つてゐる△又旱天が續き出した、今年の西部の農作はどうしても旱天に祟られるらしい

殖銀債券好況

朝鮮殖產銀行の第二回債券は二十五日より取扱各銀行一齊に申込みを受くることゝなりしが有利短期につき預金の乘換その他可なり申込みあり近く締切る事となるらし

滿蒙除外眞義

某消息通談

昨今滿蒙除外の眞義に關して諸說紛々たるが予輩の最も深憂に堪へざるは青島居留地制度問題の前途なり此問題は小に似て實は大なり共同專管の比較以前に先づ研究すべき重大問題あり抑も青島の繁榮と否とは青島其自身が決するものに非ずして青島を中心とする物資の集散によりて決せらる・ものなり青島は云ふまでもなく

海陸交通

の中樞なり今日海上交通は先づ完全に我艦隊の下にありと云ひ得可し即ち青島と大連、青島と上海又は門司神戶に至る近海各航路は定期不定期に我商船の勢力下に在り又之と聯絡して歐米各港に通ずるものにして獨逸が僅かに二隻の定期船を以て上海に於て漢米線に接續したるに比し優勢なること同一の論にあらず海上は右の如くにして其陸上は如何に吾人の疑懼する所を忌憚なく擧ぐれば

第一、山東と聯絡する津浦線の北段は如何、津浦線の總延長六百哩江蘇省徐州を界とし以て南を英國北を獨逸にて建設並に管理したるもの其獨逸の管理に屬せし部分は支那對獨宣戰布告の際我國は當然之を繼承すべかりしなり然るに今は全然英國管理の下にあり如何なる形式にても我國が此權利を保留し居ること吾人寡聞にして未だ之れを聞かず

第二、濟順高徐二線の運命は如何、滿蒙除外は先づ以て既定の問題として殘されたる山東二線の運命なるが米國提議の新借款團にして成立するときは多分我國は之を提供することゝなるべし何となれば英國の揚子江流域開放及び其優先權提供に對し日本は山東二線以外提供すべき何物もなければなり、此場合に於て如何なる曲折あるにせよ其結果は大體想像するに難からず

第三、膠濟鐵道即ち山東既設線の運用、日支合辦は既定の事實として其組織及び實際の經營は如何にするや之は暫く詳說を避け置くべし

右の內第一は眼前最も痛切に青島の繁榮を左右するに足る事實なり第二は若此二線を新財團に提供し

英米本位

の管理をするとなれば第三の合辦本線たる膠濟線が辛うじて我勢力の下に置かる・ことゝなるのみなり之を獨逸時代に比すると勢力の減退は言ふ迄もなし而して一方海上交通の完全なるに反し陸上交通の優越權多く他人の手に落つるとせば青島は我邦人に取り半身不隨の姿となり其將來悲觀の外なし此場合假令專管居留地を大きく取り占むも余輩は不肯ながら結局擴張狸の縱橫に任せざる・蘇州杭州のそれを聯想せざるを得ず此見地よりして今日の急務は先づ以て津浦線の聯絡管理に我勢力を認めしめ濟順高徐二線を完全に我國に於て把握することにあり山東問題全部の第一義に非ざるか此目的さへ達すれば青島の繁榮は疑ふべくもあらず專管共同の比較の如きは容易に解決さる可し余輩は我

對獨戰勝

の効果を有効ならしめん爲め日支共存主義の徹底の爲め識者の注意を喚起せざるを得ず、獨逸時代を略して爭ひたる山東問題も其實質內容に注意せざることは枝を去り幹を斷ち根を枯す・の運命に陷り顧みて嘅然たる悲劇を演ずるに至るなきを保せず外務委員の健在を望む

宇佐美氏留別宴

宇佐美前內務部長官兼土木局長は二十六日午後七時より京城ホテルに舊內務部並に土木局高等官以上を招待し留別の晩餐會を開くべしと

人事消息

△井上御花坊氏 二十五日朝釜山上陸十時急行にて北行途次永登浦の親戚を訪ひ一泊の上二十六日午前入城すべしと(釜山特電)
△高野岩三郎博士(帝大法科教授) 二十五日朝釜山上陸滯在中(釜山特電)
△遠藤柳作氏(東京府事務官) 廿八日頃出發赴任の豫定
△神田純一氏(總督府水產課長) 二十四日夜歸城二十五日より登廳
△久水三郎氏(前外事課長) 來月一二日頃家族同伴東京に引揚ぐる由
△甘庶義邦氏(咸北道事務官) 二十七日より開催の國勢調查講習會に出席の爲二十四日夜入城山本旅館へ
△田中三雄氏(統計課事務官) 全羅南道管內へ出張中の處廿三日歸任
△本田幸介氏(水原模範場長) 二十五日朝入城巴城館へ
△石塚峻氏(忠淸南道技師) 二十四日夜入城巴城館へ
△佐藤政次郎氏(平安北道技師) 同
△宮本政藏氏(忠淸道技師) 同上浦尾へ
△宮地久衛氏(師團副官) 二十五日夜發安東慶州鎭海方面に出張
△坂井師團副官 南鮮地方出張中の處二十五日歸任
△大垣丈夫氏(京城通信社長) 東萊溫泉にて療養中のところ廿四日歸城
△永野咸南道警視 廿一日午前七時五分出發赴任

其の日その日

◇世界永久平和の爲に、戰爭を絶對回避すべく、軍備縮小を主張する米國に於ては、海軍大擴張計畫は依然として中止せられず陸軍亦新規定に依れば、平時人員は極めて寡少なるに拘らず、一旦戰爭に際會せば、忽ち數百萬、數千萬の豫備軍人を召集し得べき計畫也。縮小か、擴張か、戰爭果して回避し得べきか。

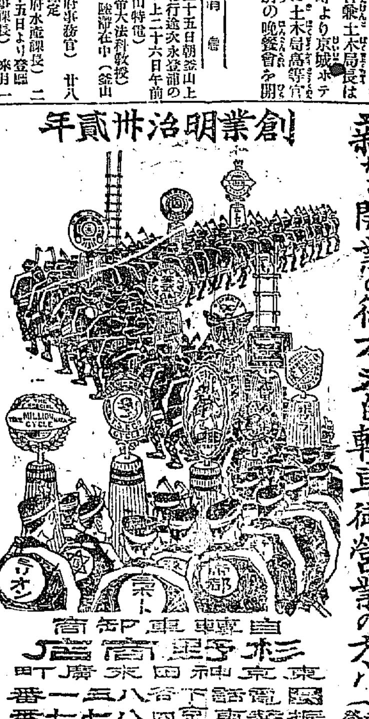
◇露國過激派の根柢は、依然として堅く、更に聯合を撓ましめんとする時、列國の對露策は、同時しか灰色と化し、中には過激派討伐軍の引揚をさへ傳へらる・ものあり。露國は遂に擧國過激派に與へられんとするか。今迄の物入れ損か。さりとは餘に腑甲斐ならずや。若し夫れ露國が捨られんか、其の機に乘ずるは獨逸也、過激派よりも寧ろ獨逸を喜ばむ。

◇過激派思想の脅威を受けざるは、僅に日本と米國のみ、と英人頻に羨む、米國は事實に於て、尚過激派分子の跋扈を見る、實際に於て、過激派と相關せざるは日本あるのみ、日本國民の世界無比なる所以、茲に於て實に歴然たり。

◇物價の騰貴、殊に日用品の騰貴は愈々益々生活を脅かし、何處迄騰るかと云ふ聲は、隨所に高し。今迄は何時下るかと云ふにありしが、今日にては以上に騰貴するを恐る。實に之れ生活難の頂上に達したる時に非ずや。而して尚ほ其の騰貴を見んか、最早如何にして生活せんかと云ふ時代に入るべし、人心の歸するたる、豈所以無しとせんや

創業明治卅貳年

新たに開業の御方又自轉車御營業の方ハ(登錄意匠)

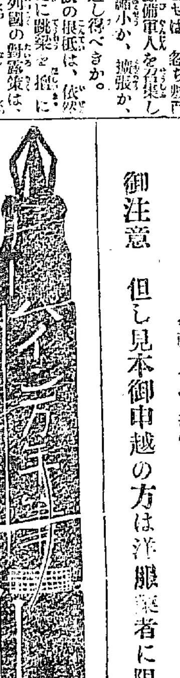


東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候

自轉車部卸商 杉野商店
東京神田末廣町
電話下谷八三一番
振替東京八七七番
郵便私書函神田局四拾番
C.A. "DAIMILLION" TOKYO

急告!! 冬物新見本發行
新なる冬物見本は近々第一回を發行可致候につき御入用の向は發行部數に制限あり至急御申越を乞ふ
羅紗商 福岡市博多中間町
株式會社 武神商店福岡支店
電話博多一九七〇番 振替福岡四〇六番 電信略號(〇エ)又は(〇)

御注意 但し見本御申越の方は洋服業者に限る
株式會社 武神商店小倉出張所
小倉市魚町三丁目
電話博多一九七〇番 振替福岡四〇六番 電信略號(〇エ)又は(〇)

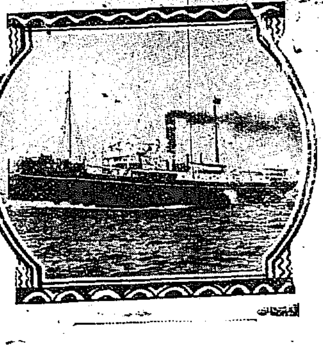


五道沿岸汽船行脚

繪の中に

愉快なる晩餐會 露梁津沖にて 京魚生

瀅々たる海上に汽船の影點々、陸上では千金を投じても、磯に名も知れぬ白い花、露梁津に到着、瀬戸内海に髣髴



浪も穏かになつた、二三時間の後行く手に低い山脈が見ゆる、右舷には南海島の山が碧空に連つて、船長の指差す處、其山脈の館に部落が見ゆる、其處が露梁津だ、入海は静かに、連波舷を洗つて、漫々たる海上には帆掛が縦横に走る、實に繪の樣な光景である、何時しか

右舷の南海島こ左舷の大陸こは、實に僅な距離である、而も其水道は深い、四方の眺めは内地の瀬戸内海航路に全くだ、荒れはてた朝鮮の海岸こは思はれない。機關長はウイスキーのコツプを唇に當てつゝ、何うです景色に好いのでせう、之れが府です遠來のお客樣に御馳走です、と自分の領分でゝもある樣に得意の鼻をうごめかす。又機關長が自慢丈けの價打はある。

船橋の一方に

三方彫の卓子が置かれて、脚の椅子が並べられた、卓を掩た白布は稍こもすると風にさらはれんとする、其處に腰を卸し、さ涼しい肌に觸して、衣狀翻り、全くの別天地である、陸上で千金を投じても此の氣分を味ふ事は出來まい。脚下の碧波、眼下の白帆、仰げば南海の山上には、悠々こ放牧された牛が草原に臥す、暫時は此小柑の景色に恍惚たらざるを得なかつた。裸岩の小磯が所々にある、其側には

漁夫が長い竿

を翳して釣つて居る磯の上には小さな名も知らぬ白い花が點々こ咲いて居る『夏海や磯に淋しき草の花』此等の風情を云ふか。船は錨を卸して汽笛を吹いた、目をやるこ最ふ露梁津に著いて居る、左舷近くの小さな島には、目も紅に百日紅の花が咲いて居る、内地人の家も見ゆる、其處にも百日紅が盛りである、のごかな港だ。少しの間は早いけれご、こ船長も卓子に齧して腰を卸した、機關長も來る、運轉士も來る、事務長も來る、一家イヤ

一船主脳家族

一同卓を圍んで晩餐を取る、安全な航海を祝すこビールのコツプを上げてカチリ、生々した日にやけた一同の顔は、何れも滿足こ、愉快に滿ちて居る。實は食堂の方は鼠族さんなんか居て固くるしいので此處にしたのです、水入らずでないこ飯が好くない、こ船長の碎けた挨拶、拙者こそ願ふてもない愉快です、諸君の御健康を祝しますでまたコツプがカチリ、夫から種々の話が出る運轉士こ船長は一寸こ挨拶して立つた、汽船は又汽笛を鳴らした

船は靜かに滑る

磯に瀬航を始める

あゝ趙重應子

本日午前十一時終に薨去

波瀾曲折に富める

六十年の生涯終る

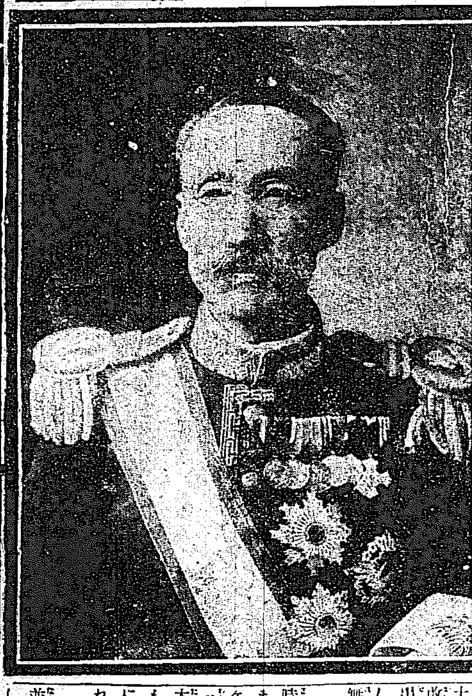
二十三日朝突然危篤に陷り絶望を傳へられたる子爵趙重應氏は其後も依然こして昏睡狀態を續け居たるが宮地主治醫、森安博士等の周到なる手當、竹子夫人はじめ一門の人々の懇なる看護の力も甲斐なく二十五日午前十一時終に眠るが如く薨去せり子爵は朝鮮貴族中の先覺者にして人格高潔、少壯時代より國事に奔走し日韓併合の功勞者こして君の眷寵世の信頼頗る厚く、上下を通じて其本復の一日も速かならん事を祈りしに今や溘焉こして逝き、茲に波瀾曲折に富める六十年の生涯を閉づ、噫悲しい哉。

靜な臨終

眠るが如く薨去

一門の人々故子爵の枕頭に泣き沈む

故子爵發病以來絶えず枕頭にありて看護に努めたる侍者は語涙を吞みながら語る『前日の夕方迄は平常の通りで何の異變もなかつたのですが翌午前二時頃俄に痰が咽喉に絡まつて呼吸が出來ぬやうになり大分苦しまれたやうでした其後も此狀態が續きますので午前五時頃至急に宮地主治醫を迎へ森安博士にも來診を請ふて百方手當に努めましたが脈搏は次第に弱る一方呼吸も蟲の息の如く段々細くなつて來て午前七時には最う昏睡狀態に陷り次いで午前十一時恰ら眠るが如く靜かに息を引取られました一門の人々の悲嘆こ哀痛……喇れた故子爵の枕頭に盡ぬ情ま哭き沈まれました』云々



薨去せる趙重應子

聖恩渥し

子爵趙重應氏病氣危篤の趣き聽に達し廿五日午前九時王職事務部長青木戒三氏は同邸に赴き左の通り叙位叙勳の御沙汰を傳達したり

正四位勳一等子爵 趙重應

叙從三位

叙勳一等旭日桐花大綬章

新總督新總監の表弔

青木庶務部長傳達

子爵趙重應氏は豫て病氣の處廿五日午前薨去したる旨發表せられたるに就き廿五日午前十一時半青木總督府庶務部長は齋藤總督並に水野政務總監代理こして同邸に赴き弔意を傳達したり

寺内伯表弔

藤波通譯官を通じ

子爵趙重應氏薨去に付二十五日午前十一時半藤波通譯官は寺内元總督代理こして同邸に赴き弔意を述べたり

葬儀は

來る三十日

訓練院で永訣式 養正に埋葬

故趙重應子の葬儀に關し葬儀委員長は李完用伯副委員長は韓昌洙男委員白完爀氏外三名こ決定し諸種の準備進行中なるが葬儀日取は來る三十日午前七時永樂町自邸出棺途中九時東大門小學校前訓練院に於て永訣式を行ひ直路金谷養正里趙家先山の墳墓に埋葬の豫定なり

病苦に勝る深憂

此苦惱を察して呉れこ

書いて呉れた七言絶句

總督府醫院長 芳賀博士談

趙重應子こ知己になつたのは日淺いが交際は可なり親密の間柄であつた、年歯も未だ六十こいふに惜しい事をしたものである趙子は元來非常な親日論者であつたから併合後の今日忠愛の念の人に勝れて厚かつたのも想像するに難くない病氣は

不治の肺患

であつたから恢復は覺束ない事は自身に自覺せられて居たこ見ゑて後事に就ても其れ〲注意をして居たらしく何等取亂した苦痛の態は見受けられなかつた子は又國事を憂ふる事は人一倍で常に國家民衆を奈何にせんこの念は長い病中にも寸時も忘れる暇なく予が昨年末重態にて危險を傳へられた時見舞に行きし際にも内氣は致し方なけれご自分には病苦にも

勝さる深憂

がある他人には語られぬ此胸の苦悶を察して呉れこ痩せ衰へた身體を病床に起して予に記念にこ書いて呉れたのは

此生無得一無成
願得再生濟衆生
念切鮮人醒大夢
成須努力竭文明

こいふ詩である其時は何等格別の意味あるものこは思はなかつたが今春に至つて初めて

思當つた節

があつた趙子の死期を早めたのは過般の騷擾事件なぞが大なる原因を爲した事こ想ふこ兎に角子の如き先覺者を失うた事は返す〲も邦家の爲めに惜しい事である

故趙重應子の筆蹟

東運益旺

趙重應

藥學界の大恩人

朝鮮藥學校の創設者

警務局衛生課技師 兒島高里氏談

「朝鮮藥學界の大恩人を失つた事は非常に殘念です顧みるこ恰ど十三年前舊韓國政府の内政が更改され大観院内に病院醫學部が出來て其衛生施設が面目を一新した時藥學に關する設備がまだ無いやうでしたから私は極力

藥學部新設

を高唱しましたが何うしても其新設は六ケ敷いこ云ふ事でした、そこで時の内務大臣其他こ熟議を遂げ私は趙子爵、當時は農商工部大臣に相談をしました所趙子爵も自分こ同感で居られたので急に廟議が改まり藥學部も新設される事になり鮮人生徒を

官費で收容

し醫學こ並び進んで行く樣になりました然し殘念ながら夫から二年後には此藥學部は廢止されなければならぬ運命に陷り私等の主張は官制で沒却されて仕舞ひました、そこで止むを得ず其後は私學こして藥學界の發達に盡すべく決心し早速此旨を趙子爵に計るこ子爵は又

之にも賛成

せられたそして其の盡力で朝鮮藥學講習所を設立し小學校舍を借りて夜學を初めました以來趙子爵は深い同情こ正しい理解こで藥學教育に力を添へられましたが此裡に國が併合され星移り物變り其藥學講習所も今や朝鮮藥學校こ改まり内容も充實し

生徒數も百

を超へるこ云ふ勢ひになつたのですが過般藥學校こ改まつた時趙子爵は自分は病弱で到底重職に堪へないからこ云はれたのを、何しろ十三年の永い歷史を有する藥學界の大恩人であるから名譽校長でも構ひませんこ申上げて無理に校長に推戴して居たのです、其藥學校も新築を終つたので何れ趙子爵の

平癒を俟て

盛大な開校式を擧行しやうこ思つて居たのに今突然薨去の悲報を耳にしやうこは夢にも思ひませんでした是位なら寧ろ午前一言學校の事を申上げて子爵十三年の苦心の成果をお聞かせして置きたかつたこ殘念で堪まりません」

『無事奔走』の綽名

寄附寄進は何時も眞先

書畫の鑑識にも長て居た

總督府通譯官池田□太郎氏談

「趙子爵の特長は極めて忠義心の發達して居た事で己を空しふして他の爲に盡す誠意は恐らく比似手はなからうこ思ふ『無事奔走』こ言へば直に趙子爵が想ひ出される程で仇名を無事奔走こ謂はれる位に奉仕無事の日にも熱心に

何彼こ奔走

して居られた程であるから一朝有事の日には身命を賭して奔走するのは當然で子爵は奔走活動を自己の附與された使命こ心得て居られたやうであつた遺憾無であつたから大正親睦會の如き社交團體を初め苟くも公共事に趙子爵の名前を見出さぬのはなかつたこ言つても可い位で寄附や寄進には何時も先驅で鮮人こしては

稀しい氣風

であつた自然併合當時多分に下賜された恩賜金も大分減らした樣子であるから財政は決して裕の方でない家庭は八十餘歲の母堂こ竹子夫人こ愛兒二人並に嗣子夫妻である道樂こいつては別にないが書畫は可成好きな方で相當鑑識にも長けて居られた

漢籍の素養

が深く文章も却々巧に部下に命じて作成させた文書等も一々細心に自身の筆を入れて自ら訂正の筆を執られた性質は至極温和な同情の深い方で他の爲には我身を勞しても我事には他を勞したくないこ云ふた方の側であつた四月頃一時東京の別邸に住居の

竹子夫人が

歸城して看護して居らるゝ自分の病氣は其方が居ても治らぬ夫よりは大切な子供の事を頼むこ少し病氣が薄らぐこ無理に歸京を促した位で却々理性の勝る方でした」

兒玉伯表弔

二十五日午前十一時半工藤文書課長は實勤局總裁兒玉秀雄伯代理こして趙重應子邸に赴き弔意を述べたり

見よ此の猖獗

國境方面の虎疫騷動

北鮮にも新患者發生

眞性虎疫四名

新義州に蔓散

其の後新義州には又々眞性虎疫四名發生す、而も散發しつゝあるこ其の傳染系路の不明多きこせるを見れば既に病毒は市中に散漫せるのこ認む新義州守備隊にては毎食野菜類は五十倍の鹽酸水に浸漬したる後調理する事こせり(二十四日發電)

九龍浦 二十三日内地人漁夫の一名九龍浦に著し疑似患者こして義州隔離室に收容さる(二十四日發電)

鐵山郡 二十二日鐵山郡丁惠面六星洞に於て鮮人男女各一名疑似虎疫に罹り女は二十三日死亡せり(二十四日發電)

砲兵工廠職工の盟休

七千名結束して

東京砲兵工廠職工七千名は賃金增額を要求し二十四日より同盟罷工を爲せり(東京電報)

奉天の强雨

奉天二十四日午後二時測定の最高温度は七十九度五分にて午後强雨ありたり(奉天特電)

句帖揮毫に 盡ぬ清興

小原鬧屋雨氏

送別俳莚

小原鳥兎鬧屋雨兩氏送別俳莚は廿四日午後五時より龍陽軒で開かれた蒸付くやうな西日を浴びて集つた俳人は芳賀東山、森安崔城、坂出鳴海、岡本桂堂、上田袋人の諸氏其他で總數廿餘人羽織を脱いで一同打寬ぎ

俳莚に

入つた主賓小原鳥兎氏は早くから見ゑてゐたが鬧屋雨氏は多忙の爲め留別の句を寄せた丈で遂に見ゑなかつた桂堂氏が新題向かぶれがしさうだこ云ふので鳥兎氏上京後も東京から應援して所謂邪道へ入れまいこ云ふ相談が纏まるこ一方では盛んに

短冊や

請帖に名筆を揮ふ人達もある其中を兩氏へ贈る送別句帖の揮毫が廻る、軈がて縁側で一同紀念撮影のレンズの前に立つてから席題天の川、砧、花野各一句、七時締切こ云ふので主客俳三昧に入つた、螢燈が灯る頃席題句が出來上がつたのが清書され互選しながら晩餐を共にした和氣藹々裡に頃

庭前の

小池で蛙が水際に、跳り上るのも今宵の俳莚に相應しかつた互選を終るこ酒宴文藝談やら俳句談やらに花が咲き賑やかであつた互選の披講を終り今府一同の揮毫した句帖に中村鳥堂氏が山下新線帖こ銘打つて鳥兎鬧兩氏に贈呈した、座間の眞中に唐紙が延られるこ寄書が始まり盛んに名筆が揮はれ清興を盡して午後十時一同散會した

定州邑 二十三日又々定州邑内に鮮人女二名疑似虎疫に罹る蔓延の兆あり(二十四日發電)

昌城郡 二十二日昌城郡昌城面に鮮人女一名虎疫の爲死亡す(二十四日發電)

鴨綠江上舟行の者にして昨今虎疫に罹るもの漸く多きは江上に病毒の流下せる證こ見るを得べし、國境の虎疫は漸次南下し、我が京城に迫らむこし、又第十九師團管下北鮮地方にも二十三日新患者を出だせり、二十五日正午迄師團司令部滿鐵京管局其の他に達せる情報は左の如く恐るべき新患者の發生を齎らせるにあらずや嚴重なる警戒を要す

北鮮の新患者

十九師團警戒

日龍岩浦碇泊中の漁船中にて鮮人二名疑似虎疫に罹り内一名死す(二十四日發電)

廿三日安平郡新州里に疑似虎疫鮮女一名發す目下檢鏡中第十九師團管下に於る最初の患者也師團司令部は各部隊に命令して嚴重なる防疫を開始す(廿三日發)

列車内で發生

同乘客は平壤で

下車五日間隔離

二十四日鷄冠山發平壤行き混合列車に車掌所有邑間の乘車券を所持せる鮮人客一名疑似虎疫こ判明定州驛にて下車せしめたるを以て同列車乘客は全部平壤驛にて下車後大同館支店及び驛前鮮人旅宿に五日間隔離さるる事こなり該客車は嚴重に消毒を行ひ

避暑地投票締切

は愈今廿五日

地方は廿五日々付印の分迄有効

當選地の決定發表は來る三十日

龍川郡 龍川郡新東面鰲判里鮮人一名は龍岩浦より食鹽を積みて十六日出帆十八日安州面竹非里に着船し間もなく吐瀉數回の後十九日死亡せり(廿二日發電)

安州面 安州面新昌里碇泊大鮮人一名は虎疫の爲め船内に死亡す(二十三日發電)

寧邊郡 二十一日寧邊郡延山面新大鮮人一名成川江を下りて安州面北昌里に着船内吐瀉を始め終に死亡せり眞性虎疫こ決定す(二十四日發電)

安邊郡 二十二日午後一時安邊郡培花面新原里にて鮮人一名疑似虎疫に罹り生命危篤なり(二十四日發電)

龍岩浦 二十二日龍岩浦に鮮人漁夫船夫等五名疑似虎疫に罹り内二名死亡せり又二十三

昨夜の送別俳莚 ×印は小原鳥兎氏

潜水艦は

仁川船渠内

に碇泊する

來る十八日廻航の豫定こなり居る英國潜水艦は仁川入港の上直ちに船渠内に繋留して一般の拜觀に便利なる方法を執る事に決定せり同艦の拜觀は一日一艦に就き約二百名位こ限られ其他は岸壁より之を觀覽する事こなるべし尚潜水艦の廻航先に於て乘組海軍將校の講演會ある筈なるが仁川に於ては公立尋常高等小學校に於て開催さるべしこ

又も咬傷

二十四日午後五時過ぎ龍山元町二丁目八十五番地池田たつ(こ)は同町二丁目四十一番地菊池勝吉の飼犬に又同日同時頃龍山山手町通十三番地ノ百九十一號帶國臣四郎(こ)は同町十三番地浦田多吉人の飼犬に孰れも咬まれ其の筋に訴へ出づ犬は檢診中被害者は直ちに醫學手當を施したり

灯

▲地方覆審高等の各法院こ新設の關係で普通事件も溜つて居たので此夏中は非常に多忙な日を送つて居る毎日朝八時から午後四時過まで執務であるから吏員一同暑中休暇なごは夢にも見られず『暑中勉勵』こ云ふ有様『暑中勉勵』こは裁判所で出來た新熟語である▲官制改革を語るやうな各官廳の標札が大分目に付く曰く警察官講習所、曰く高陽警察署、曰く何……▲廿四日鳥兎宗匠の送別俳莚席上の『天の川米岸ぐ宵の闇にあり』此披巧に一同がアツこ驚いて高點句に推した、席末の一人が『御役人にも生活難があるこ見ゑて俳句にも其鳥が出てゐます』

紹介

○信託業開始 京城黃金町朝鮮組合取締橋本茂雄氏は今回財產管理清算整理等其他一般の委任を受くべき信託業を開業せるが詳細は直接事務所に問ひ合せられたしさ

本日温度(午後二時)

▽京城 龍氏 九十一度 (本社觀測)

▽仁川 同 八十八度 (本社支局)

○轢死一件 二十四日午前五時過鐵道線路工夫が白馬石下間巡回中鮮人轢死者一名を發見警官に引渡したるが多分前夜運轉の貨物列車に轢かれたるものなるべく又同日午後四時頃南大門釜山間特急列車が大新金泉間に運轉中鮮人男一名機關車に觸れ轢死したる爲め該列車は現場に七分停車死體は官憲立會の上家族に引渡せりこ

赤痢病

京城府本町四丁目一○八番地大沼ふゆ(一六)は二十五日松本醫師診察の結果赤痢こ確定し順化院へ隔離されたり

狂言大家來らん

和泉流大家野村萬造氏

和泉流狂言大家野村萬造氏一行は先頃滿鐵會社の招聘に應じて渡滿し目下各地に於て演技中なるが本月末頃には當地に落し京城ホテルの舞臺にて一會催す由其は和泉流家元殁後之を預り其技藝の功妙輕快全く當代一流の聞へあるに加へて子息萬作氏の技藝比年圓熟し來り乃父を凌ぐの聲あり何れも曾て天覽の光榮を有し東京にては兎も角當地にては滅多に見る事の出來ぬものこて今より多大の期待を以て入城を待つもの尠からぬ由なれば定めて當日は盛況を呈すべく因に同行せる寶生流桐谷氏の高弟小田氏も出演する由

鈴辨事件

豫審調書交附

鈴辨事件豫審調書は二十三日漸く謄寫を終り廿四日關係辯護士に交附されたるが約千二百頁の大冊なり(東京特電)

平壤地方降雨

平壤地方は二十四日午後約十五粍の降雨あり尚ほ降雨を見る見込みなり(平壤電報)

仁川期米

二十五日後場

寄付 四三、四〇

高値 四三、四六

安値 四三、三五

引値 四三、三六

△あかりし後の寄に再び四十錢こ叩き因圖因の買に五十一錢こ反撥せしが夫より新見氏割に……

連絡船上陸客

廿五日午前入港高麗丸二等乘客……伎、小野眞德、同眞治、副島久雄、櫻井牛男、同星子、内田敏雄、同男、本田榮次、……

廿四日午前入港高麗丸二一等乘客……客八名(二等七名)倍味末吉、小石橋半次郎、古川總次郎、梁地信……松小太郎、岡村……

曇一時晴

▼京城氣溫……

▽日出五時五十七分

▽日沒七時十三分

商業登記公告

株式會社朝鮮殖產銀行は(略記)大正八年八月拾五日朝鮮全羅南道麗水郡麗水面西町參百五拾九番地ニ所在支店ヲ全羅南道麗水郡麗水面西町千貳百六拾五番地ニ移轉シタリ

右大正八年八月貳拾壹日登記

京城地方法院鐵原支廳

商業登記

株式會社朝鮮殖產銀行麗水支店ハ大正八年八月拾五日左記ニ移轉シタリ

全羅南道麗水郡麗水面西町千貳百六拾五番地

右大正八年八月貳拾貳日登記

京城地方法院開城支廳

小切手紛失廣告

銀行名 株式會社百三十銀行

小切手番號 ○四參八號

記載金額 金壹千參百四拾圓也

振出人名 有隣生命保險株式會社朝鮮支部長

右紛失致シ候ニ付無効ノ爲メ廣告候也

大正八年八月廿二日

有隣生命保險株式會社 朝鮮支部長 山崎右近

美味なる 虫下し 最良藥

定價 五錢●十錢●廿錢●五十錢

岩崎大海堂セメンシナ菓子

美味なる虫下し最良藥

本舗 岩崎大海堂

内外藥店にあり

蛔虫諸症 疳蟲々熱

夜泣の蟲 乳あまし

蟲腹痛み 疝熱の蟲

蟲胸惡く 勞熱の蟲

蟲せき 驚風の蟲

近來粗惡なる僞物續出す商標に注意

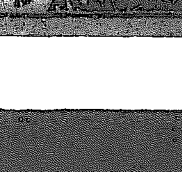
社員解職廣告

竹村千代龜

右本年五月一日付行衛不明ニ付本社ト何等關係無之候此段廣告候也

有隣生命保險株式會社 朝鮮支部

強胃消化錠



アナタの胃病には マーゲン

本劑の特色

大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

第五版

地主と小作人制度改正の必要

慶南　佐久間生

▲現在地主と小作人との兩者の制度の改正は農事改良と生活の安定を夢想だに望みがたき多數の小作人の救助策をして最大の急務である＝現制度の如く＝米麥＝棉花＝大豆の論なく折半制度は地主は座して過半を食るのみならず＝地稅すら小作人に負はしめつゝある狀態である小作人は面及び郡當志者より有利なる指導を受け微力なる財政より資金を投じ、增收策を講ずるも徒らに地主の腹を肥やすに過ぎずして投資金に對する報酬は僅少なる故等る從來の放任主義を取り顧みない狀況にて萬一小作人が地主に對し勞に對する當然の要求＝若くば多少反抗的態度を示めす曉は恰も仇敵の如く手段を選ばず壓迫を加へ零に耕作地を取り上げし例乏しからず＝地主も多少自覺なしつゝあるも依然橫暴を逞し普通の道理とする處に適合に務めず人文の進まざる時代の如く小作人を奴隸に視＝情を以て緩和する如き異動更になく數百年來の惡習慣を改めず＝併今以前彼等の財產の安定は夢想だに得ざる時代と皇恩に浴し、財產の安定を得たる現今にても何等制度の更新せず、依然惡制度を墨守し昨秋來農作物の增收＝價格の昂騰に依り三倍以上の增收入を得しが爲め地主と小作人との富の比較に於いて著しく差違を生じ地主は一片の勞なくして獲得せし收益は多く、酒色、若くば妾に浪費し小作人を保護し幸を享する念は寸毫だになく、小作人は絶えず、不安の念に惱まされつゝある結果＝健全なる農事の發達を遂ぐる事は絶對に不可能であるが故に地主の覺醒に依り一定の年貢制度に變更せば小作人等の生活上の安定を得ると共に農事改良の實を擧ぐる事易からしむるである切に地主諸君の覺醒を促す

黄海旱害調査

鳳山郡の實狀

仁川商業會議所

本郡は瑞興川の灌漑を受け畓作は畑作に比し好況に在るも畑作に至りては實に悲慘なるものあり畓總面積五萬九千七百八十町歩の內本年の植付反別五萬八千四百二十三町歩此の內旱害に依り收穫の見込みなきもの六千町歩に及べり而して之が水稻の收穫高を見るに此內にありて一割收穫見込み面積一割あり平年作見込み面積二割三割減收見込み一割五分、五割乃至八割減收見込めるもの二割收穫皆無の慘狀を呈せるもの一割を算し之を平均すれば本年の收穫は平均四割に過ぎざるが如し

畑作にありては

畑作に當つて最も悲慘なるは蜀黍の如き平均三割大豆五割小豆五割五分稻四割五分綠豆六割と見る等あれど是は最も樂觀的の見込みにして事實は尚ほ之れ以上の減收を見るならんと思惟せらる旱害に依る家畜の影響に就ても亦決して看過し得べからざるものあり飼育食料の缺乏の爲め放賣する者多きに原因して其の價格の激落を來せるは事實にして一例せば現在牛價の如き本年六月迄は一頭の價格平均大二百圓中位のもの現在にては大牛百十圓乃至百四十圓小九十圓を唱へつゝありしもの現在にては僅に四十圓に低下せり、中位のもの牛額の七十圓小牛に至りては僅に四十圓に低下せり、豚又四割乃至五割の低落を示し雞の如き略豚價と

同樣の低落率を

示せり現在の家畜數は牛六千二百七十一頭豚五千五百四十二頭雞四萬四千五百三十一羽を算せるも放賣夥多なる爲め近く激減すべく郡に於ては畜牛の放賣を此まゝに放置する時は後日困窮の虞ありとし百方之が防止に努めつゝあるも飼育に必要なる草及び用水の缺乏を如何ともする能はず最も窮境に在るが如し

特米等なき爲め

持越米の狀況は現在の推想約一千七百石あるも持米者旱害を懼れて放賣を爲さず中層以下に於ては全然貧民の困窮最も甚だし而して更に此の旱害に伴なふ穀類の暴騰に事情を見るに白米は上白六十二錢中白六十錢下白五十七錢五厘を唱へ粟四十八錢大豆四十一錢小豆四十二錢五厘小麥二十五錢を唱へ一般農民は今回の旱魃の慘狀に對しては之れ全く過般の騷擾に對する天罰なりと信ぜる者もあり、如く各所に雨乞ひを爲しつゝあり夜間に於ては多數部落民集合し篝火を爲し雨乞ひの祈念を爲しつゝあるが其の慘狀最も哀れなるものあり

東邊（管內）大旱害

東邊道管內に於ける各縣の旱魃は近來未曾有の事に屬し萬一此の儘にして本月中十二分の降雨を見るにあらざれば高粱、大豆包米共

收穫皆無

なるべしとて地方農民の憂慮は其の極に達しつゝあり是と同時に安東地方の秋柞蠶は降雨なき爲め柞樹の芽伸び皆無にして葉は硬化する由り秋蠶の成績は甚だ不良なり蠶の飼育に適せず剩へ蟲害あるのみならず蠶縮病に犯され稚蠶死を撒くも限りなく搬出せる人夫猶ほ柞蠶も今後數日の間降雨なき時に於ては三分作は覺束なかるべく或は收穫皆無の悲慘を見るの事なきを保せずと云ふ一方

朝鮮地方の旱禁も掲げ

しき爲め今秋の收穫減を見て粟雜穀等の買占めをなす者漸く猛烈を加へ來りたる爲安東地方の官民は物價の暴騰に鑑み非常の警戒をなすに到れり目下雜穀は一般に高騰して平年の二倍强に達するものありと云ふ（安東縣）

慘憺たる虎疫の哈爾賓（下）

到底現世の事とは思はれず支那人如何に亂暴なればとて此の恐怖すべき虎列拉患者をして斯の如き取扱ひを成し居よふとは想像も及ばざりし處にして而も此の多數患者の吐排せる汚物に對し何等消毒的方法を講ずる事なく患者も汚物も

死人も其の儘に

叢の中に放置し石灰一ツ散布し居らざるを見れば何人か其の亂暴と無智とに驚愕せざるものやあらざらむ而も同所附近は一帶に人家連續し消毒豫防の什麼なく多數の支那人が自由に出入せる蠅は人に付いて四方する事なれば恰も疫黴を此の處に於て製造し而して各所に散布し居るに等しく到底之れが今日有得べき事とは思はれざるなり而して邦人避病者は之れ等無數の患者を縫ふての殷與の一棟に在り道に此亂暴なる危險中に在りても出入の門扉は嚴重にし消毒藥の設備十分なるより該日本人專用病舍に至れば

恰も猛火中より

逃れたるの感あり現在邦人收容數は十二名なりとの事にて各一名一室を當居れば邦人患者に對しては手當等に關して遺憾なきも只病舍が殆ど猛火中に在るが如く此恐るべき黴菌によりて取り圍まれ居る事なれば病舍より一歩を出むか黴菌中を歩行せざるべからざるが故に付添人或は我防疫係員の危險なる事も推して知るべきなり兎に角恐るべき吉江病院の現狀は到底記者の如き筆にては詳細報じ能はず筆紙に盡し難しとは此の如きを指す

苦痛の餘り蹲座

ものならむ此戰慄すべき患者の中に二三の支那事務員は一寢の卓を置き何等豫防の準備もせで平然と野天事務を執り居たるを見受けたり或は患者の近親が付き添ひて

苦痛の餘り蹲座せる者が倒れるを看ば直ちに起して水を與へ居るをも見受けたり扨ては何等消毒の手段もなき死體を數限りなく搬出せる人夫の如きは之れ等をして感染せずこせば發病する者は神の御加護と疑ふばかりにして彼下層支那人の無感覺なるには吾人と同じき人間動物なるや否やを思はしむるなり

大連の苦力同盟罷業

形勢不穩

十九日朝突如として行はれたる大連十木建築使役苦力の同盟罷業は二十日朝に至り小崗子方面に飛火し千木課宿舎建築工場使用苦力二百餘名同盟罷業を爲すに至る形勢容易ならざるものあり罷業の原因に就いては

近時流行

の勞働階級覺醒の波動と云ひ或は是も又近頃流行の支那各地の排日的思想の浸染に因るとする者あるが現狀より推す時は然らざるが如し近時勞働界の覺醒著しきものありとは云へ未だ彼の鈍感なる苦力の覺醒の如き若しありとするも微弱云爲するに足らず然しながら底止するなき物價の上騰と近時彼等の基本通貨たる銀の騰貴とは流石に鈍感なる彼等をも現實に脅威せしが如し而して今彼等の日收に就き見るに

特殊技能

を有せざる雜役者は六十錢以上一圓五十錢位にて技術者は二圓或は二圓五十錢を得ると云ふ而して今回の罷業者の多くは特殊技能を有せざる雜用苦力にして彼等の一日平均收入は一圓若しくは一圓二十錢見當にして現在の

日貨と銀

の換算率は日貨百圓に對する銀六十一圓なるを以て一圓の日給者の收入は約六十錢一圓五十錢の者が八十錢なり亦察すべき點必ずしもなしと云ふを得ざるべし又翻つて使用者側に就いて見る時は是又數回の賃銀增加を行ひ物價騰貴に依る彼等の生活上の不安除去に努め來りしなるが要するに斯る事態を惹起せし原因は彼の不安定極まる銀本位に累せられしも多き譯なるが此の場合惡先例を殘さざる賢明なる方法に依り此急を救ひ無事に解決を圖るの外なかるべしと觀ぜらる

清津貿易額

輸出入共激增

清津稅關支署の取扱ひに係る七月中の輸出入貿易額を聞くに輸出額三十七萬三千八百十圓にて前月の七萬五千三百六十五圓に比し四倍即ち廿九萬八千四百四十五圓の大激增を示し尚之を前年同月の十一萬四千五百十圓に對比すれば二倍半二十五萬九千三百圓の增加あり輸入にありては五十六萬三千三百四十七圓にして前月の五十萬五千二百六十二圓に比較し一割五分即ち五萬八千八十五圓の增加等孰れも空前の激增なり（清津）

清津魚市成績

清津魚市場七月中の水揚げ高は二萬七千三百五十五圓餘にして之を昨年同月の九千七百六十□圓に對比すれば一萬七千五百九十四圓の增加を示せり例年當期は閑枯にて水揚高減少するを常とするも本年は反對の現象を呈せるは注意すべき事にして或は言ふ例年に無き東南風襲來し炎暑甚だしく南國氣分を漂はしたる故暖流魚類の流游せるにあらざるか次に主なるものは鯛五、〇七二圓、鯖三、六〇九圓、鰯八、五二六圓なり（清津）

借家拂底と救濟策

世間一般好況に伴なひ家屋の不足は獨り全州のみならず各地共にその聲高き處なるが諸材料高騰のため家屋の建築に著目する者なく一般借家側にては大いに閉口致し居る有樣にて之れが救濟策として全羅北道にては東京建築會社京城支店に交渉の結果全州に於て五十戸丈け建築する事となり建築加入希望者に取りては至極便利なる方法にて建築費の償還方は各種を通じて五年間とし千圓に對し年一割二歩の利息を拂込めば五年後には自己の所有となる譯なれば甚だ好都合なるも借て全州にて五十口の申込み者が果して之有るや疑問にて之れが實現を見る迄には頗る困難ならんとの說多し（全州）

虎疫の本源たる苦力一萬餘

取締に困難を極む

大連市內に於ける虎疫は益々猖獗を極め來り十九日は埠頭より寺兒溝方面のみにて十八名の新患者を出し中には虎疫の屍を路上に遺棄しある等危險且つ慘狀を呈するあり官憲又取締に努めあるも何等效果なき狀態にして監視の眼も屆かざるの人員を以て區域に亘る警戒と云ふべき苦力のみにて一萬人以上もある事とて之が取締の衝に當る者の苦心努力は實に察すべきものあり、而して今や各界共に極力豫防に努め居るに拘らず虎疫は些の容赦なく猛威を振ひ十九日新患者累計四十名現在百餘名に上りて益々蔓延の兆あり

運賃問題陳情

代表者滿鐵を訪問す

滿鐵の改正運賃問題に關し先に陳情書を提出せる大連商業會議所重要物產取引人組合、油房聯合會の三代表者は十八日本社に中西副社長を訪問して右三團體より陳情せる運賃問題に對する滿鐵の意見を聽取する由なるが聞く處に依れば右問題に對しては滿鐵に於ては既に方針決定し新改正案を作製し中央政府の認可を經可く先頃松本理事之を携帶東上中なるが此問題とすべきは政府が滿鐵會社の提出せる新改正案を其の儘認容するや否やにありと云ふ

商況

株式

東京現株（至急電報）

銘柄	▲印騰貴　掛込	△印下落　二十五日中値
鮮銀	一〇〇・〇〇	▲二五〇、〇〇
同新	五〇・〇〇	▲一九五、〇〇
京電	三〇・〇〇	▲六二、〇〇
東拓	五〇・〇〇	▲一一三、〇〇
同新	三・五〇	△七五、〇〇
殖銀	三〇・〇〇	△八四、〇〇

東京株式（至急電報）

銘柄	⊙二十五日前場大引	前日比較
東株	三一五、〇〇	九、五〇高
同新	三〇四、九〇	一一、〇〇高
滿鐵	一八二、九〇	一、一〇安
一新	一六二、二〇	一、三〇高
二新	一二三、九〇	一、二〇高

大阪株式（至急電報）

銘柄	二十五日前場寄付	前日比較
大株	二九五、四〇	……
同新	二八五、〇〇	……
日郵	二八三、一〇	……
同新	一三七、九〇	……
商船	一八四、八〇	……
同新	一三八、八〇	……
鐘紡	三六九、七〇	……
同新	三四九、八〇	……
東紡	二五三、一〇	……
東糖	一五六、四〇	……
堂米	……	……
上取	四八、五〇	……

京城現株（標準値段）

銘柄	▲印騰貴　拂込額	△印下落　時價
仁取	三七・五〇	一六〇、〇〇
朝郵	二五・〇〇	四〇、〇〇
電興	二〇・〇〇	二〇、〇〇
皮革	二〇・〇〇	二六、〇〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇
朝紡	一二・五〇	一八、〇〇
朝紙	一二・五〇	三四、〇〇
商銀	二五・〇〇	五八、〇〇
同新	一二・五〇	一六、五〇
滿毛	一二・五〇	三九、五〇
滿糖	一七・五〇	三四、一〇
鮮煙	三〇・〇〇	二七、〇〇
鮮鐵	二五・〇〇	五八、〇〇
鮮土	一二・五〇	二二、八〇
東亞	一二・五〇	▲三六、五〇
葉貴	一二・五〇	▲三八、〇〇
仁倉	一二・五〇	一六、五〇
製粉	一二・五〇	一九、〇〇

新東も三百圓

東京株式市場は最近增資問題喧傳せられたると過般の原首相演說により政府は今日財界に動搖を來すが如き徹底的物價調節に出づる者あり僞め昨今の人氣は寄る事を知り稍安心買に出で大阪に先走り氣味となり今朝は東株九圓五十錢高新東十一圓高となり新舊共に三百圓を拔くに至れり

仁取株振はず

仁取株は東亞煙草新株拂込期に入りたると銀行金融逼迫の爲め買物續出し居れるも買手極めて少く强ひて手放さんとすれば遂に前値段の八圓迄に叩かれ閑散なる振合あり僞りに商內も閑散にして振はざるが東亞拂込一段落後は昨今の出來高より推して當然氣直るに至るべしと云ふ

東亞稍引締る

東亞煙草新株拂込期限切迫と共に投げ物續出すべしと一般に期待されしが今日迄左る傾向も見へず寧ろ値段の出來るだけ手段を講じて兎に角拂込丈けは濟まさんものと既に夫れ／＼其準備を整へたる向ある由にて安くは容易に手放さゞれば同株のみは人氣はヂリ／＼引締り氣味となり兩三日前證據金共に三十五圓處の商內多かりしも今朝唱へは七圓五十錢處を呼び三百三十枚の商內ありたり

東洋葉煙草騰

東亞煙草の氣丈けと共に之れが姊妹會社とも稱すべき東洋葉煙草株も漸次活況を帶び過般二十五圓プレミアム付にて商內を見たる以來俄かに買氣を催ほしたるもの如く今朝は既に一圓高を唱へ卅八圓五十錢にて百十枚の商內を見たるが同社は鮮內は勿論遠く南北滿洲の葉煙草業をも經營する由なれば遠からず增資の必要生ずべしとの氣構へに今一段の高値を現はすべき氣配あり

製粉株買望み

朝鮮製粉株は曾て賣買を聞かざりしが最近の麥粉暴騰に關聯して頻りに買望む者現はれ十二圓五十錢拂込み昨今十八九圓處を唱へ今朝百枚の手合せありたり

滿蒙毛織氣丈

滿蒙毛織は合併問題再燃の爲め頗みに活氣を帶び內地に於いては四十圓五十錢迄の手合せありたる由なるが其の後稍反落して目下三十九圓處を唱へ當地にても七圓五十錢より九圓迄の商內四百五十枚の多きに達せるが內地への賣注文は依然四十圓以上ならでは商談纏まらざるものゝ如し

本日の商內株

左は重に休日前の取組に係るものなるが殖銀東拓滿蒙等の高報を入れたる爲め之等を中心として近來稀に見る大商內行はれたり

滿鐵第一新百六十二圓にて二百枚▲同第二新百二十一圓九十錢より三圓五十錢迄二百枚▲鮮銀九十三圓より二百四十枚▲東拓新七十三圓より五圓迄百四十枚▲朝紡二十八圓より九十錢迄百六十枚▲鮮土二十一圓二十錢迄二百五十枚▲殖銀八十四圓より八圓五十錢迄九百枚▲電興二十四圓より九十錢迄五百枚▲滿蒙毛織三十九圓より八圓迄四百枚▲日本海運十六圓より十錢迄百十枚▲鮮煙二十六圓より九圓迄百枚▲商銀新十六圓五十錢迄百三十枚▲東亞三十七圓五十錢にて三百三十枚▲日本毛織二十六圓にて百枚▲日糖百五十七圓五十錢にて百枚▲同新六十六圓より八圓迄三十枚▲東京電氣五十七圓にて二十枚▲東畜十五圓にて六十枚▲ツルチユウ五圓より七圓五十錢迄百四十枚▲商船新百三十六圓にて三十枚▲東洋葉煙三十八圓五十錢にて百十枚

北濱だより

稅務吏が仲買人に對して執りし處の所得額推定方法も誤まつて居るのがあるので市場の問題となつて來て▲自己賣買を主とする有力者が最低二十四萬圓に推定せられ依託と自己とが半々の某氏が最高の百二十萬圓と推算せらるゝなど間違ひの一つなら自己賣買は斷じて損をせぬとも決定して居るらしいのも其一つ▲併した間違ふた點を發表したなら數々あるが段々に半分以上を課稅せられ殘つたもので經營して行く處は幾何もない之では仲買人として成行かないと悲觀する者もありアマリ酷な課稅は市場は段々衰亡を招く外はない▲尤も三品市場では最高百五十萬圓最低六萬圓と査定せられたものが十九名あつたが稍々交渉やら押問答の結果最高の百五十萬圓と推定せられた一人が九十萬圓に減ぜられたなどの例から推すとアト無罪放免となるかも知れぬが問題だけに一般の興味を惹いて居る

米況

東京期米特電

⊙二十五日前場	
寄附	三七、六九
高値	……
安値	……
止め	……

大阪期米特電

⊙二十五日前場	
寄付	三八、六九
高値	……
安値	……
止め	……

仁川期米

二十五日前場（氣配ボケ嫌氣投）

今朝晴天、阪地入電未著なるも昨後場大阪の止め高と買方の懸念せし天候も立直りの快晴となりたれば人氣强硬を唱へ公定賣りいの旺盛なりしも立會は地場筋の防戰買りに案外氣配ボケ當中出來ざるが先四十三圓七十錢と前か十八丁高に寄付きしも忽ち六十五錢と蹴込まれ押目は鮮人筋克く買いて再び七十錢と跳返したるも戻りは地方筋克く賣りて五錢と弛み六七錢に混戰して引▲第二節 當中出來ざるが中四十三圓八十と全賣り大五買ひに始め先七十錢より㊃因克く賣りしかば嫌氣投げを喚ひて㊃の買ひも消化され五十五錢崩れ八錢と小戻しに引▲第三節 當中出來ず先五十五錢を寄す六十錢下違しも無相に安値を採合ひ六十錢と盛返し五十八九錢と强硬に引▲第四節 當中出來不申先大阪前寄三十八圓六十八錢と東京二三十七錢六十九錢と何れも高移りに六十五錢と上値に始まり場面は弱めの新納戻りは嫌氣筋の手詰めに五十七錢と押し五十九錢と持合ひに引▲第五節 先五十五錢より五十錢と弱み更に崩しを試みしが押目は正米市場より買物殺へず七十錢と採合ひ六十一錢と氣丈に打止めたり

採算買過ぎ中

昨日曜休會の內氣配は阪地の高報と天候の立直りに三十□高の氣配なりしも今朝弱氣猛に活躍し公定賣に買氣を無視し僅か十八丁高の四十三圓七十錢に寄付續いて㊀を先頭に同好く賣り浴せ六十錢と躍さへたるより東西の變りに嫌氣投げを加はへ

灣米代用と格附

仁川取引所に於ては今回臺灣米を提供受渡しせんとする處ありしが同取引所營業細則第二十五條には代用米を以て受渡し得べき規定あるも其參考品の備へ付けなき際とて若松理事長は各仲買人を取引所樓上に招集し之に對する格附に付き協議する處ありしが各仲買人間に於て異論百出何等纏まりたる決定を見るに至らざるが之に付て今村委員長の語る處によれば今突然灣米代用に對する格附範圍を定むるは各仲買人に於ても仕難き事なれば一應取引所より堂島取引所の灣米參考品を取り寄せ夫れに準じ同所建米の稍と鮮米の格差より割出して其參考品に準じたる審査を行ひ然る後格附範圍を定むるは第一の好策なる事を主張し置きたるより取引所に於ても參考品の送付方を急ぎつゝあれば來る十一月限より格附範圍の擴張と審査方法の發表を見るに至るべしと

仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎　仁川海岸町三丁目　電話長一六〇番

二十五日前場

公定相場	
寄付	四三、七〇
止め	四三、六一
高値	四三、七〇
安値	四三、五〇
一節	四三、六八
二節	四三、六二
三節	四三、五六
四節	四三、六〇
五節	四三、五九

◇出來高　二十八萬八千八百石

◇限月値段　當限 ……　中限 四十三圓八十錢　先限 四十三圓六十八錢

下關米取引所仲買
（㊥）桝谷米市
多少ニ不拘御注文被下度確實迅速ヲ旨トシ信用ニ關シテハ下關第一銀行住友銀行支店又ハ百十銀行ヘ御問合チ乞フ

市場雜觀

內地米供給不足の憂所を有めた米の前途も旱魃天候に消されく唱へ徐々內地不引にて無觀し正米市場を保たん形勢を行し地方筋內地場の有力者が上米を根據に買浴ぜても存外市場の下げが鈍いようだが此の高いのが實勢か人爲か一概に論じ難きも結局は旱害の結果たるや疑ひなし然し高見越しに一致せる反響にして群衆心の結果たるの買方が猜榜せる鮮米の買收額が三割以上に制も減少せんか前途の重大問題で軟硬の勝敗は茲に起因するのであるが勿論不足する物は高からざるを得ないとして內地が現在の好況を持續して買收額六千萬石超過で作をも示したなれば朝鮮の不作とも云へ其程悲觀する事も有まい當局の調査に係る全鮮一帶に於ける現在の在米は昨年の本月に對して輸出は仁川、群山等南浦丈の米の勝機市場に於いても昨年に十四五萬石の多額を示して其抱持せる在米にしても大の頭ても有れば現今の如き高値の持越す向も意外の殘存米を絶望とならず減して內地取引きの絶對量も計らず此の憂惧もあり

仁川正米市場

此の頃の相場は天候本位に爭ひつゝあれば降雨襲來するが如くに見せざる如くにして場面大氣迷ひ又せざる如くにして居るが夫れを移して騰落を演じて居るが正米市場も之に迷はされ更に無活氣の商勢を示したると云へ幾分雨不足の傾向より高含み振合を唱へられ平澤三等神力の今摺上物四十四圓二十錢日出標準米に四十四圓二十錢忠清道の米で四十二圓八十錢沃良郡の古物四十四圓八十錢に五圓地摺玄米不合格物に四十二圓三十錢見當にて何れも百叺乃至百五十叺位ひの小取引を見るに過ぎざるか如きは先日の雨にて徐々入津を增加し荷主は旱魃を唱へて容易に賣急がず黃海道の在來種にて十三錢忠清道の神力種にて十三錢二厘見當より引かざる模樣に買方も見送りの爲め更に商談出來せざるが其他雜穀に於いても保合ひの光景を示し更に商談出來せず

當を固執せるより精米所として現下白米相場との採算上右値段にては不引合なるを以つて相變らず買氣を進む反向なし只必需にの高値を忍び望取りあるのみなり組合には七百八十二叺高値四十三圓九十錢安値四十二圓に附出しあり

釜山正米市場

出廻り相當にあれども輸出は殆んど杜絶の狀態なるを以て自然市況軟調となり三等神力四十三圓七十錢所にて四千叺許り商內出來たり大豆義州物二十圓京釜物十八圓七八十錢所にて一千五百叺許りの商內あり尚ほ新大豆京釜物走り二十一圓十五錢同大粒廿二圓にて手合出來したり（二十五日釜山）

綿布徐々引締む

旱魃影響を懸念されし綿布の商行きも過般の降雨により人氣大に緩和され地方弗々の買望みに連れ市中仲間取引も漸次見直しつゝあり從つて相場も逐日上分か宛の上足を辿り三エー現物は四百九十五圓三十錢迄も手合を見るに至り先又廿三圓と減切氣勢を支那方面の見直しに好氣配を移し限常徐々人氣の回復を見んとする傾向なるが何分旱魃地の雨量不足を傳へらるゝ際前途賃行に不安を一掃し難ければ市況としても底意は何となく頭重し

支那粟愈軟化

支那粟は旱魃地に於ける假需要も既に一巡行渡り且つ總てが出廻ひ高値物を抱ける折柄其後の天候雨含みにもあり此處買物少なからざる爲氣配漸く軟化の色めきて相場は高値より約一圓二三十錢方の下落を示せり本日の市場附出しは奉天物一車現物二十四圓十錢四平街一車現物二十四圓二十錢營口三車二十四圓三十錢九月渡三車十九圓五十錢長春九月渡し一車十九圓三十錢海城九月渡し一車二十一圓にて商談九月渡二十一圓十錢となり

小豆更に落低

小豆は高値不商內なりしも唱へは一時四十五圓迄下りしが行場きは之を機に旱魃地の降雨によりて其の前途を憂ふる金融方針は更に人氣の軟化を餘儀なからしめ且つ兆々現品の觸著もあり客米は更に五圓落ちの三十五圓を唱ふるに至れり

燐寸漸次昂騰

燐寸は近來軸木の騰貴に彼め昨今の製造も一般を通じて十二錢上げを實現したるが更に製品の格揚を促がす原因となり東洋燐寸は最近八十錢方の値上げ申込みに對し日本燐寸の如き何れも地方面の移出も思はしからざれば此處市中値も漸次上向きの一途にて目下十七圓を唱へ居るが眼先一段の高値を期待せられつゝあり

京城正米市場

降雨後の當正米市場は頭上不足を唱へ人氣は降雨前に比し却て天候頗强の振合ひを見せし昨今漸に地方銀行筋の金融引締め方針と云ふは各種生產品の昂騰を冐すに至るべし

▲値上廣告
諸材料暴騰致候爲め止むを得ず廿日より三割方値上實行仕り候也
大正八年八月廿日
京城印刻業組合

果實青物　海產物　委托賣買
委托品は確實迅速に御取扱可申候間多少に不拘御出荷被下度候
京城南米倉町市場
貿易問屋　㊐　岩城商會
振替京城一〇〇六番　電話八四二番
紀州柑橘紀柑園組合指定問屋
蓬萊生命保險會社代理店

原料香水
オリヂナル
帽子に一滴
ネクタイに一滴
扇子に一滴
ハンカチに一滴
お髪に一滴
襟裏に一滴
づゝは終日爽快
宮內省御買上品
製造元 日本 ウヌール本舗
東京 株式會社 安藤井筒堂

收組高　中限 五千五百石　先限 四萬九千六百石

豫報　高氣壓 北滿洲　低氣壓 琉球附近

日本名刀傳 百四十二

東京　田邊南龍講演

堀川の國廣（十四）

廣國は『何を蓄生奴が』と突如足を揚げてヅシンと蹴つたが、却々年功を經た犬と見えましてヒラリ體を換したから、國廣は空を蹴ました國『ヤツ、失策たり此の畜生奴ッ』と國廣目掛けて嚙付かんとなすところを、再び右足を飛ばして犬の横腹をばウンと蹴りましたから、キャッと一聲叫んで黑血をコテ〳〵吐いて死ましたが、やがて大勢の者も近づき 甲『まア何て力なんだらう、豪いもんだ、それに目の廻るやうな早業、此の犬は年功を經て居て、皮なんざア此通りゴツ〳〵する程厚くなつて居る

以前は左程惡さをしなかつたから、時々食物などやつて、可愛がつてやつて居たんだが、却々捷つて手にをへねわ、今日は是非やつてしまふと追つ驅廻すと生憎殿樣の行列に出會して此儘此犬がお行列の中へ飛込まふものなら、それこそ私達は打首か獄門にでもなるところであつたに、旦那がやつて下すつたばかりで、大助かりを致しました然し旦那の早業は流石の犬も逃れなかつたものと見ゑる、餘程膽で武藝に秀でてゐらつしやらなければ、出來るわけのものでない』乙『さうださうだ、此の畜生は日外も俺の家の子供の腰へ噛付きやアがつて、飛んだ傷を付けやアがつた、それに昨日は又隣家の小伜の肩の肉を喰切りやアがつて大熱でまだ寢て苦んで居る、何うか一日も早く殺してくれ〳〵と思つて居たにまア宜かつた大安心をした』と悦んで國廣に禮を述るのも田舍氣質の朴訥なところであります。此の樣子を殿樣がお籠のうちから篤と御覽になつてお歸りになりましたが、大いに國廣の力量に感服致されました、國廣は此日は之れで立歸りました、スルト又一箇月程經ちまして後の事でございます、今度は一人で御城下まで用事があつて出掛けましたところ、又々前方から殿がお出でになりました『片寄れ〳〵片寄れ〳〵』決して下に居れとは云はない至つて謙遜な殿主、それに野外へ出遊びがお好きで屢々お輿籠でお出掛けになる、國廣は又もや殿の御通御に出會つたから中腰になつて片傍の軒下へ寄つて居ると、一人の醉どれ武士、何と思つたか殿の御行列を顧みず大聲をあげて大地を濶歩し少しも傍へ片寄りません、殿樣の御供廻りの侍が驚いて 侍『コレ、何者だ、無禮をするな、片寄れ〳〵』醉『何が無禮だ、殿樣だらうが我々浪士だらうが同じ人間だ』侍『コレ、無禮をすな、無禮だぞ』醉『ハ・・・分らねえ奴だな、何が無禮だ』侍『許さんぞ』醉『ハヽヽヽ、許すも許さんもあるものか』とそも何者かは知らぬ理不盡な奴もあるものかな』と國廣はたゞ傍觀して居るに忍びず、ツカ〳〵と進みよつて、彼の浪人體の者の腕を捻上げて 國『コレ貴殿は何といふ禮を知らんことである、若し殿に願の筋でもあるならば、それ〳〵の手續きを經てなされたら宜からう』と斯く泥醉して無禮を働かれるとは何といふことでござるさア此方へ來なさるが宜い』とグイと腕をもつて自分の後へやつてしまつた、其の態度が如何にも泰然自若たるものでありますから、殿樣もお供廻りの人々も感心しました、何しろ此頃は戰國の世の中でありますから、時々斯う云ふ亂暴な武士があつて殿の行列だらうが、何だらうが眼中に少しも無い奴がありまして、大名なども道中するにもなか〳〵油斷が出來ない、並木の木の上などへ隱れて居て大名の籠を目掛けて鐵砲を放つた者などもありました、徳川家康公なども佐竹の家來車丹波守に石田三成の仇を討つ人だといつて、鐵砲で籠を打たれたことがあります、此時家康公の籠の中へ彈丸が飛込んで家康公の面前をかすめて向うへ拔けた、もう少しのところで家康公の御身體へ彈丸が當るのでありました、此の籠は今でも日光に『丸拔乘物』といつて寶物として保存されてあります、其の位で此時分は大名の行列を犯す者などは澤山あつた、國廣の取押へた泥醉武士は浪人者で別に考へがあつたわけもなく、全く酒に醉ふてのことと分かつたので命だけは助けてやりました。

先般父病氣の急電に接し鄕里に歸省中の處廿二日歸院從前通り診療に從事致候
京城黄金町三丁目永樂町通り
本田病院
院長　本田建義

灌漑水の缺乏と農民の憂慮

全羅北道管内上關面所陽面鳳東面の各面にては月餘に亘る旱魃打ち續き加ふるに暑氣酷烈のため高地に屬する山間部は稻灌漑水の缺乏を來し地面は白色となり稻の枯死せんとするものあり關係部落民は非常に憂慮し雨乞ひを爲すものありて茲一週間内に降雨なきに於ては恐るべき被害を蒙る模樣にて之れが爲め塩基里市場の如き米價益々騰貴し白米一斗五圓四十錢の高値を唱へ居れりと（全州）

誰が何と言ふても朝夕顔洗には
ローヤル石鹸
品質舶來品以上　價格低廉
朝鮮一手販賣　京城北米倉町　ヒワコ屋糸店
製造元　神戸市　柴仁株式會社

八月廿七日　（舊）閏七月二日　水曜日　暗劍西　▲友引　▲かのと　▲七赤　▲たひら

▼七赤▲心靜かに尊ぶべき日也
▼八白▲物ごと順當に運びのつくべき日なり但し躁るべからず
▼九紫▲目上の人の指圖に順ひて吉なり此日怪我過失注意の事
▼一白▲損失の生じ易き日なり
▼二黑▲常業に非ざる限り投機的の事は見合はすべし、外は吉
▼三碧▲病氣を努て注意すべし
▼四綠▲ちよつと心配のある日
▼五黄▲調子の好き日にて物事滯りなく運ぶべく萬事進んで吉
▼六白▲迷はずに事を爲さば案外なる方面にて成功するや不知

演藝案内

壽館　本町二丁目　電一〇五〇
▲浪界覇者桃中軒秀右衞門一行　當る廿五日『五日目』午後七時開演
▲相州孝子傳　桃中軒秀松
▲東の花男一疋　北都賓一三
▲義烈百傑　桃中軒秀久
▲快男兒　旭伯龍
▲水戸黄門記　秀右衞門
▲餘興『天下一品』雲進坊
▲蓄音器大家物眞似　俵右衞門奈良丸樂　遊樂燕雲月園車小園新内入追分ヨサレ節浪花節入都々逸小琴其他百種

大正館　櫻井町　電話八七三
當廿二日より特別興行『入場料普通』
○○實寫『亞米利加輕業師』
○○滑稽劇『西洋滑稽物眞似』長尺
米國ヴアイタグラフ會社傑作
◎活劇『スパイ』全五千呎
●日活會社本年新規大撮影　日本三大仇討の一伊賀越三十六番斬
◆荒木又右衞門一代記　全七巻
古今無雙の大劍客其名を天下に轟かした荒木又右衞門の幼年時代より柳生飛彈守に試合なし悉皇にて本多侯に仕官し後伊賀越に於て仇討ちたる松之助、房太郎以下の大努力に依り完成せし傑作○特に荒木又右衞門出立の場面は義太夫語り御清聽に供す
日本活動寫眞會社代理店

浪花館　京城旭町　電話二六〇
京阪落語佳都雀一行　當る十六日より毎月後七時開演
▲落語　三遊亭花之助
▲昔はなし　桂女之助
▲掛合噺　桂都良八・家五七
▲落語歌舞　桂五郎
▲人情噺　櫻家太朗
▲落語音曲ステヽコ　桂都朝
▲落語音曲滑稽浄るり　三桝家都文
▲長唄二調舞　橋家小都
▲落語珍藝百出　柳家文弥
▲人情噺　三遊亭美若
▲大切喜劇　桂都一　西川流振事　樂屋總出

壽座　京城本町　電話五七八
當る八月十九日より毎夜五時開場
新派好美團一行　第四回替藝題
佐藤紅綠氏作　**俠艶錄**　全七場
一、小金井花見　二、上野松坂亭　三、阪東力枝の宅　四、淑尾家洋室　五、力枝の宅　六、劇中劇　七、王子瀧の川
吉子（外山）淺野三郎（前田）弟子梅代（神谷）寺崎國之進（宮越）母親お貞（酒井）山林寅男、弼吉左衞門（岩田）淑尾富士夫、粟本比太（小松）阪東力枝、品村、娘富美子、馬方三吉（清華亭久松）
入場料特等金壹圓壹等金七拾錢貳等金五拾錢三等金卅錢

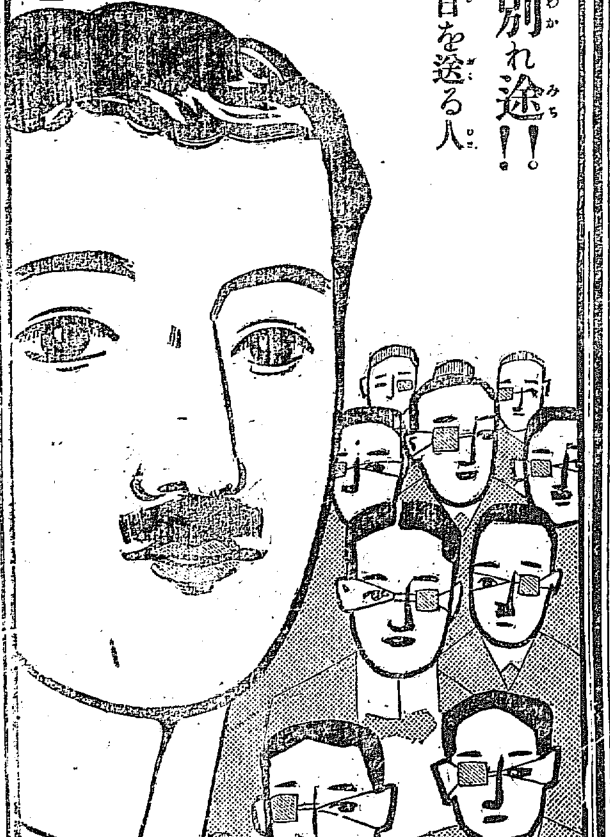
喜樂館　本町一丁目　電九九七番　在樂留敢
當る八月二十二日より特別大提供
印度風俗實寫
米國キーストン會社特作　滑稽活劇　**浴槽の危難**　全弐巻
米國ラスキー社作　マーガレットターンプル女史脚色　人情活劇　**異郷の人**　全五巻
日活京都派　◎新劇　**兒雷也**　全三百五十五場

文樂座　本町五丁目　電二八番
喜劇スズメ會男女優團一行
當る廿四日（五回替り藝題）
▲笑劇　若い者　三場
▲喜劇　芝濱革財布　四場
▲喜劇　文子は寶　一場
一等六拾錢　二等四拾錢　三等弐拾錢

いやでも治る
のん病七日藥
○慢性痳病　○女子淋渇　○睾丸炎　○急性痳病　○膀胱加答兒　○尿道狹窄
早く治る不思議の藥　說明書送
七日分服用せよ　金貳圓拾錢
大阪堺筋八幡筋北　山口藥院

わきが
彼の不快なわきが　今迄是を他の藥で用ひて効なき方は特効藥ファーザー　御用ひ
價一圓六十錢　京城黄金町三　電話一九四九番　山田文殊堂藥房

血を增し　肉を肥し　體を强ひす
補血強壯
肥肉丸
◉貧血にて瘦たる症
◉虚弱にて色惡き症
◉神經衰弱及病後の衰弱諸症
其他心臓病、黄胖、黄疸等に大効あり
◉持藥として用れば健康保全の効あり
ウサギ印　商標注意
價　三日分金五十錢　七日分金壹圓　十日分金貳圓[illegible]
大阪市堂島元船柄　本舖　高橋盛大堂本店
同心齋橋筋博勞町　發賣　高橋盛大堂分店
東京市神田柳町　同　高橋盛大堂出張所
●到る處の藥店にて販賣す


愉快と不愉快との別れ途!!
眼を病んで不愉快な日を送る人
今！スグ！
大學目藥で
愉快な道を歩まれよ
大阪　參天堂

婦人の海水浴
にホーカー白粉だけは決して忘れる事は出來ません
日ヤケ、汐ヤケのせぬ
日本に唯一つの海水浴用白粉
ホーカー白粉
論より證據　ホーカー白粉が海水浴用白粉として實に不思議な効果のある事は一度使へば直ぐ成程と判ります
□ノリノビ善く　□變色の憂なく
□つく力が強く　□化粧崩れせず
□肌アレを防ぐ　□光澤さみ增す
全國到る處の小間物化粧品店、藥店等に販賣す若し品切の節は本舗直接振替か切手にて御注文を乞ふ
定價一瓶金二十五錢
本舗　東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店
電話神田（四四三・四四四・四五五・四五六）
振替東京

胃腸を根本的に癒し生新の活氣を與へる
ゴルフ

美味で胃腸によくきくゴルフ
定價　三十五錢　五十錢　一圓三十錢
ゴルフは高峰博士のタカヂアスターゼを主藥とし之に色々有効なる胃腸藥を配合調劑した所のもので其上錠劑として頗る服み易くしてあるから胃の機能を盛にして消化を助け食慾を增進する上に非常な効果がある胃のみでなく腸の機能を盛にする力があるから慢性の胃腸病營養不良身体衰弱の人には勿論根氣なき人、頭腦を過度に使ふ人には驚くべき効能あり
▼全國各藥店にあり
東京室町　泰昌製藥株式會社

尼崎汽船仁川出帆
○山木浦下ノ關大阪行
赤心丸　八月　日後四時出帆
一心丸　八月　日後四時出帆
神代丸　八月　日後四時出帆
秀吉丸　八月　日後四時出帆
君か代丸　八月　日後四時出帆
大有丸　八月　日後四時出帆
○印船客御斷　△印二等船客無
仁川海岸通二丁目電話五九番　高彥司出張所

共同汽船仁川出帆
阿波
▲大連直行　第二共同丸　八月廿二日午後入港　八月廿四日正午出帆
▲青島直行　第十一共同丸　八月　日午前入港　八月廿二日午前出帆
▲秦皇島行　第六十二共同丸　八月　日午後入港　第十三共同丸　八月　日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送　大連にて青島行定期船接續荷客輸送
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目電話一七三番
仁川代理店　野口回漕部
元山代理店　春日町電話二四七番　田口商會
京城取次店　南大門通二丁目電話七六〇、八二二　河村運送店

專賣特許　ケイフ
一名ガラスふきん
在來の硝子ふきんの如く器具藥品を要せず手を汚す事なく何時でも簡單にきれいに磨けていつ迄も使へる便利なガラスふきんは又西洋食器などのあぶら氣を取るに最も妙なり是非一度御試しを乞ふ
見本一枚二十五錢送料二錢
京城太平通り　京城日報社代理部

日本郵船仁川出帆
大連天津牛莊行
濟州丸　八月　日正午出帆
薩摩丸　八月　日正午出帆
相模丸　八月　日正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
仁川海岸町一丁目電話十番　堀回漕店

互光商會汽船出帆廣告
◎元山、西湖、城津、淸津行　第三浦菊丸　八月　日釜山發　八月　日元山發
◎門司、宇品、神戸、大阪行　第三春日丸　八月　日元山發　八月　日釜山發
釜山　大池回漕部（電話一二三）
元山　田口回漕店

大阪商船汽船出帆
（仁川出帆）
濟南浦大阪行
△沖繩丸　八月　日正午出
×安東丸　八月　日正午出
（元山出帆）
淸津行　宮島丸　八月　日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　八月　日後九時出
（大連出帆）
上海、基隆、打拘行　湖北丸　八月卅一日前六時出　基隆丸　八月　日前六時出
內地各港出帆も要航路
歐洲行　一年四回北米行每月一回
南米行　一年四回孟買行每月一回
濠洲行　每月一回南洋行每月一回
御注意　外國航路郵船の時は御乘船の分は豫め御申込み下さい
大阪商船株式會社仁川支店　電話二番二一〇番五五〇番

朝鮮郵船出帆
京城仁川　朝鮮郵船會社支店
八月號
▲敦賀行　淸津、城津、元山經由
平安丸　八月　日　淸津發　八月廿六日　元山發
▲浦汐行　城津、門司、釜山、元山
越後丸　八月廿七日　釜山發　八月廿九日　元山發
▲釜山行　釜山各港經由
京畿丸　八月廿九日　釜山發　九月一日　元山發
雄基丸　九月三日　釜山發　九月六日　元山發
▲元山雄基線　元山雄基間往復
咸鏡丸　八月三十日　元山發
▲大阪行　釜山、神戸經由
越後丸　九月四日　元山發　九月六日　釜山發
▲關門行　各港經由
京畿丸　九月十二日　元山發
平壤丸　九月二十日　元山發
▲金剛山遊覽便　元山發
鏡城丸　八月　日　元山發
▲鬱陵島行　釜山發浦項及各地經由
盈德丸　八月廿四日　釜山發
▲濟州島行　釜山發
昌平丸　八月廿六日　釜山發
東廻　慶興丸　八月廿七日　木浦發
西廻　公州丸　八月廿四日　木浦發
▲釜山麗水線　釜山麗水往復
木浦麗水線　釜山麗水往復
順天丸　八月廿八日　木浦發
▲多島海行　木浦發多島海各島行
慶興丸　八月　日　木浦發
▲木浦行　仁川發各地經由
晉州丸　八月　日　仁川發
▲海州行　○全州丸　○南陽丸
▲鎭南浦行　仁川發各港經由
天聲丸　八月廿五日　仁川發
▲大連青島行　仁川發芝罘經由
江原丸　八月　日　仁川發
本社　京城南大門通（電話長二三二三）
釜山支店　釜山佐藤町
元山出張所　元山海岸通
仁川代理店　堀回漕部
木浦代理店　山野回漕部
京城荷客取扱店　松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

汽車發着 [illegible]

其發展を試むるも徒らに徒事に非……ざるべきを以て最近海外より得……の生產額は高的確ならざ……那邦諸國の統計を綜合考覈……

其反別は三千……ルなり從つて砂糖の產額は……五十萬噸見當なるべし……氣候の不順なりしと戰爭の……

……昨年の產額は……加したるべく……頗に過ぎざりし……本年のは昨年より五萬噸增加の二十……は左迄增加せざるも國內……噸と注せらる……は作付反別半減したれば一昨年及び其前年は共に……高き……を管理し且……に付き三十萬……公定價格を發表し當時太額を七十五萬噸と豫想せば蓋して……所の如くなるを以て本年度の產……ポーランド及びウクライナに於……て產出せられたり而して國內……國の砂糖の大部分は……

第五版

京城日報

(年中無休刊)

本紙一部金五錢……廣告料……京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　發行兼編輯人　東田直之　印刷人　小川三之……電話……六千九番　振替京城三〇〇番

京城日報　滿蒙除外

新借款團加入條件

米國の承認せる對支新借款團に就いては、支那に於いても贊否二種の議論あることは固より當然なり。蓋し政治經濟の兩部を、一手獨占に歸せしむる時は、將來支那を二强大者の支配下に立たしむるの虞あること勿論にして、苟くも遠識あるものは、容易に點頭し能はざる所なるべし。然れども現在の支那には米國崇拜熱の流行甚だしく、ウイルソン、ランシングの徒を以て支那を救ふの天使と信じ居る者多數を占むる有様なれば、遠き將來の事などは、深く考ふるに遑あらず、米國の發議さならば是非を論ぜず賛成すべしといふ様な淺墓なる觀察にて、兎も角も贊成し、其上巨額の資金を何時にても借用し得るの便利あるを見、案外容易に承諾するやも知れず。殊に當時財界に於て有力なる梁士詒の一派の如きは、親米の最たるものなれば、或は大に新借款團の出現を歡迎しあるならん。此際吾人の執るべき態度は、支那の贊否などは固より眼中に置くに足らず、當然主張すべきことは强硬に主張し、一歩も之を枉ぐることなく、若し列國の容るゝ所とならずば不利を忍ぶも之に加入するを辭するの外なし。

新借款團に加入するの條件として、滿蒙除外は飽まで之を主張せざるべからずとは、我が朝野の議論の一致する所にして、一人半個も之に向つて異議を唱ふるものあることなし。是れ滿蒙は我邦が國運を賭して强敵を驅逐し、支那の主權を恢復したる場處にして、從つて特殊の利權を得たるとは、固より當然にして、是れ世界各國の公認する所、今更故なくして之を擲つべきにあらず。若し英米諸國の要求する如く、無條件加入を爲すとせば、南滿鐵道の如きも竟に之を國際管理の下に置かざるべからざるに至り、從つて朝鮮の維持に甚だしき不安を感ずるに至るべく、是實に國家存立上の大問題にして、英佛諸國の無條件加入とは、大いにその性質を殊にすること明々昭々たるものあるを以てなり。我が政府は曩に巴里講和會議に於て、我が山東に關する主張にして容れられざる場合には、講和會議を脫退し、國際聯盟にも加入せざるの決心を表し、國民も亦政府の覺悟を以て其當を得たるものなることを承認したりき。今夫れ滿蒙除外の主張は、山東問題などの比較し得べきものにあらず、直ちに國運の消長を來すべき至重至大の問題なるが故に、擧國一致、政府の決意を支持し、萬一餘儀なき場合には、我邦は新借款團の外に立ち、從來既に得たる各種の利權を確實に保持せんことを努めざるべからず。此の如くにして列國の仲間外れと爲りたる不利益は、相應に大なるものあるべく、且つ當分對支投資は不可能の狀態と爲るべきも、實に止むを得ざるのことにして、國家の運命とは替へ難し。此事に就いては政府當路は勿論のこと、國民一般非常の決心を以て臍を固めざるべからず。

セメョーノフ將軍

齊多にて　鶴田櫟村

小生只今ザバイカル州齊多に有之候、數日前イルクーツクより歸還、當地にて目下アタマン、セメョーノフの肖像を執筆中にて御座候、之れは某氏よりの依頼に御座候へど、又小生自身多大の興味を感じて此人物の觀察を致し居り候、天下の風雲に乘じて立ちたる人物丈ありて眼光に只者ならざる面影を視申す可く候。住居は停車場より數丁と隔たれざる近傍の、極めて小さな簡素なる二階家屋にて候、時節柄護衛の兵仲々物々しきものには候へど、併し彼は小生の爲に毎日モデルになる程の餘裕を有するが如く候。西伯利の天地は今後如何に變動し行くや計られず候へど、現狀に於ては決して樂觀を以て目す可からず、眞實に露西亞國民を愛し、地を思つて西伯利に身命を賭する者を切に願ぶものに候。夏雲、インゴダの流れに影する處、セメョーノフの賑やかなる顏に對して、小生は自然が人物を生み、時は又人物を育てることを信じ申し候。

對支思想の革新を望む

布施知足(寄)

山東の問題で篠田信二君が遊說に來て居られる、諸方で結束して騷立てなくては効驗が乏しいとあつて、陳情の爲既に四回も上京委員を出してゐるが朝鮮は元來山東と關係の淺くない土地では有り第一重要な鹽の問題を控へてゐる、此點からでも山東の既得利權擁護を主張する今回の運動には是非加擔して貰はなければならぬといふ話である。委しい事は日報で別に紹介されるだらうから茲には書かぬ、唯僕は篠田君の話を聞いてゐる間に新しく邦人の對支思想といふものを考へさせられた、大戰が齎した思想の變化と云ふ事に頓着なく世界及び支那の思想感情と協調を保つ事を主眼としないで既得の利權擁護といふ事のみを高唱すると云ふやり方は新時代の對支思想と謂へるだらうか、殊に其議論の背景を例の[illegible]曲折の後結局[illegible]であり隨つて吾邦[illegible]る其實現に盡力するの[illegible]探るべき道であらうと思ふ、此見地から僕は內田外相の共同居留地發明に共鳴を感ずる者で隨つて篠田君一派の專管居留地獲得には不幸にして賛意を表し難い遺憾とする、鹽の問題は成程考慮に値する、しかも國民の生活に必要の物だからとて其地の住民が好むと好まざるとに論なく遮二無二其の品[illegible]如く歐米人の支那に於ける非法の活躍といふ事に置いて其活躍に關するあらゆる論議と想像とを無省察に受入れるに至つては、これ依然たる舊思想たりと嘆ぜざるを得ないのを悲しむ、邦人はよく吾邦の對支外交を指導的外交でなければいけないと云ふ、其都不幸にして僕は未だ吾邦が主義に於て模範とすべきものを提唱したのを聞いた事はなく實行に於て餘り犧牲的精神を示した事はないやうに思ふ、僕は支那が陛下のあらゆる混亂あらゆる沈滯を以てして猶且つ終には世界文明の前途に上るべく又上らしむる事が世界先進國殊に吾邦の努むべき義務である事を信ずるが故に支那が今日不幸にして文明國の列に入らないが爲に蒙つてゐるあらゆる差別待遇例へば治外法權の撤去といふやうな乃至權利を手に入れやうと企るのは之れやがて戰前の精神に後戻りするのではあるまいか、僕は邦人の對支精神がまだ／＼兎角に戰前の帝國主義的色彩を帶び歐米に對しては徹頭徹尾色眼鏡をかけてまだ之を敵視し支那に對しては少しも其の立場と自覺的精神を認めず一から十まで教唆で動くもののやうに誤做して動もすれば其の稜弱を侮る、そして全體に於て世界及び支那との協調を忘れてゐるのを悲まざるを得ない、對支關係の革新と云ふのは畢竟此對支精神の革新から始めなければならぬ、僕は今特に篠田君が持つてきた山東問題の運動を云々するので無いが山東運動でも此對支精神の革新と云ふ大綱に外れぬものであつてほしいと思ふ

新家庭　九月號

△長篇小說 しぐれ唄……長田幹彥
△長篇小說 くれなゐ……田山花袋
△芝居小說 夜叉王の娘……大村嘉代子
△ロマンス 破獄囚……田中貢太郎
△家庭喜劇 見本三種……今井[illegible]水
△家庭童話 秋の湖……小林文學士

毎號大評判になつてゐる『しぐれ唄』と『くれなゐ』は本號から彌々面白くなりました。いづれも梗概をつけてありますから本號から御愛讀下すつてもよくお解りになります。ぜひ御愛讀下さいまし。本誌獨特の貴婦人方の罪のない素破拔や水島霞伯の繪入ロマンス岡本靈伯の漫畫など興味多く、齋藤佳三氏の音譜付子守唄は大好評のもの、その他の記事は左の通りで、いづれも美くしい挿畫と相俟つて涼しい秋の長夜にふさはしい好讀物揃ひでございます。

△支那情話『秋瑟瑟』……下田歌子
△活きた化粧の秘訣……尾山みさを
△秋口に多い胃腸病の話……吉光寺博士
△お臺所科學エピの話……岸上博士
△當季唯一の江戸の美味……岡野知十
△流行談『簞笥の中物語』……平山蘆江
△九月に見るもの植るもの……篠原晨好園
△海外小話『あらまあ物語』……森田みね子

名流夫人令孃の寫眞 滿載
△若田玉城氏の極彩色美人畫……
△大野隆德氏の油繪『秋の野』……
△艶麗な三色と二色寫眞版…三枚
△新らしい半襟の圖案…前川千帆
△月に見る寫(短歌)……山田邦子
大好評の全國の女學校通信

定價一部四十五錢　郵稅一部二錢五厘
東京芝公園九　玄文社　振替東京一四一七七

モスより安い

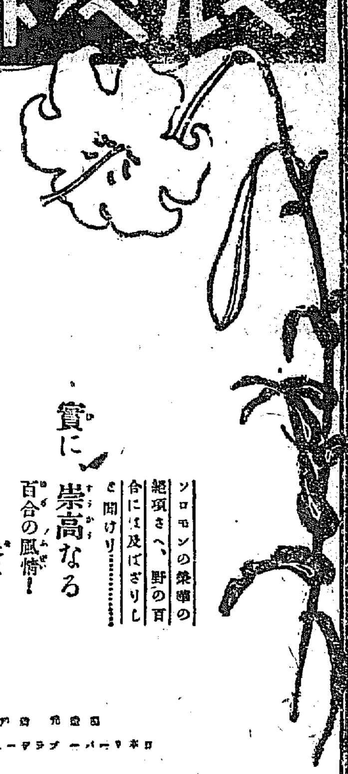
大巾一尺に付五拾參錢より一圓迄各種

いよ／＼需要期に入れる
福井の白羽二重！
胴うら、肩うら、袖うら、にまことによろし

見本進呈

京城本町三　玉屋本店　電話一七五二番

ベルベット石鹸

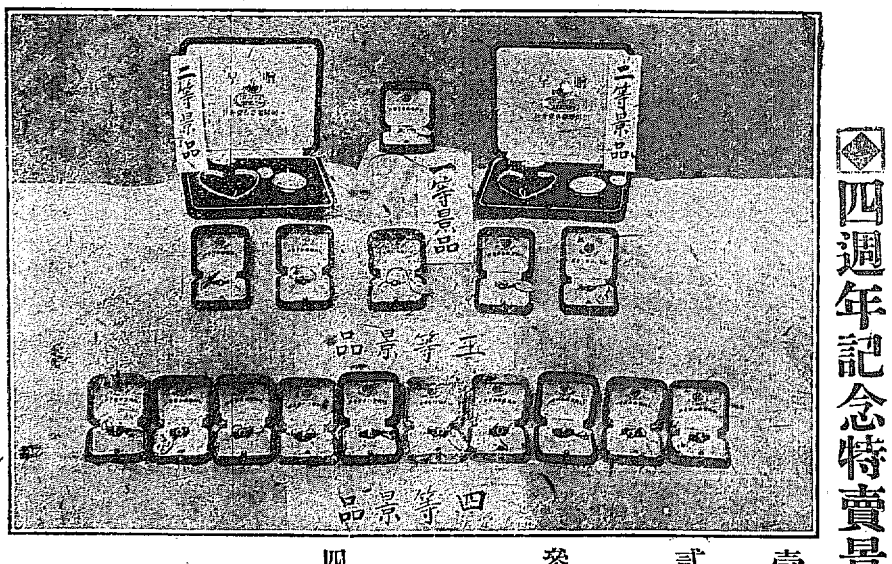


實に崇高なる百合の風情！
ソロモンの榮華の絕頂さへ、野の百合には及ばざりしと聞けり………
夫は……ベルベット石鹸
愛用者の楚々たる容姿にも譬へんか！

日本リーバーブラザース株式會社

V. 9

四週年記念特賣景品當籤者廣告



壹等 ダイヤ三ツ入婦人持金指輪一個壹百圓(同)
二二六一番　支那湖北省宜昌　丸生洋行殿

貳等 瑞西製金側鎖付懷中時計各一個七十五圓(同)
一二六五番　臺中廳梧棲港街楊源成方　楊金榜殿
五一四二番　福井縣坂井郡三國町平木　中谷甚平殿

參等 ダイヤ一ケ入婦人指輪各一個四十圓(同)
一七二五番　福井縣大野郡阪谷村　藤堂雅亮殿
三九六七番　岩手縣上閉伊郡遠野町　富士井直澄殿
二五九番　臺中燕務下堡員林　賴敦厚殿
五一二六番　神戸山手通一ノ四　池善一殿
六八五五番　朝鮮郭山驛前　金相杰殿

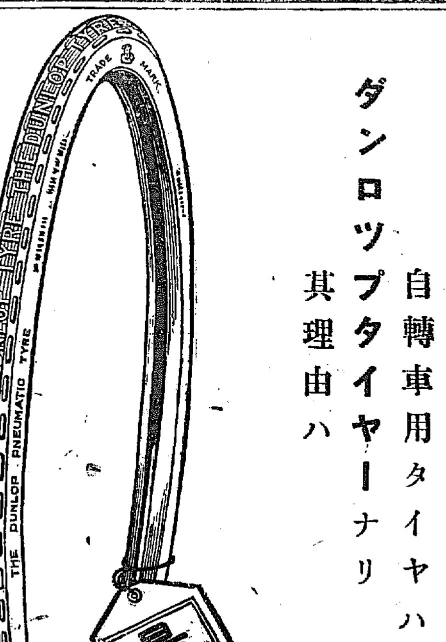
四等 純金彫刻指輪各一個十五圓(同)
一貳二八番　熊本縣天草郡役所內　宮崎修殿
五五八六番　臺灣嘉義廳六腳佃區長役場　黃志道殿
七九四〇番　宮城縣登米郡石越　石越記念圖書館長殿
二八九六番　山口縣萩町江向　那須舜二殿
四四五〇番　靜岡縣加茂郡下河津村見高　岡本木之助殿
六五九四番　福岡縣鞍手郡宮田村桐野醫業所　具島龜吉殿
七一八番　三重縣桑名町　川瀨庄太郎殿
一一四四番　三重縣河藝郡黑田村大字南黑田　堀民之助殿
四七六一番　臺灣臺東廳臺東街聯昌商店　鄧輝星殿
七三一五番　臺灣臺南廳財務課　山中孝殿

▲外ニ五等五十人、六等五百人、七等七千五百七十八人ハ之ヲ略ス

朝鮮製藥合資會社
朝鮮京城長谷川町五八

笹山章著　ウツボ屋書店發行
新案獨學 イロハ辭典付
鮮語自在
ポケット形二百頁　定價五十錢(送料貳錢)
發賣元　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

現代之理想ニ適シタル自轉車用タイヤハダンロップタイヤーナリ
其理由ハ
飽迄モ耐久力ニ富ミ
體裁善ク値段ニ於テ
非常ニ安價ナリ他ニ此三拍子揃タルタイヤ有ル哉
(到ル所著名ナル自轉車店ニ有リ)



ダンロップ自動車自轉車タイヤーハ各自動車自轉車店ニ有リ

英海軍戰公報
露國艦隊擊沈と英艦の損害

英國海軍省は十七日芬蘭灣の海戰に於て露國戰鬪艦ペトロハウロスキー及びアンドレーヘルブオニマを擊沈せる旨を報じ露國驅逐艦一隻亦擊沈せられ同時に一露國巡洋艦は多分大損害を蒙りたるもの、如く聲明せり尚英海軍省は英國モーターボート三隻擊沈せられたりとの報道を確認せるも損失に關しては別に明示する處なし(倫敦電報)

激派艦擊沈後報

芬蘭海峽に於て擊沈されたる過激派軍艦は既電の如くなるが其他に過激派潛航艇母艦各一隻ドエアバンカ燈臺沖の戰爭に於て擊沈せられたりと報ぜらる(ヘルシングフォールス電報)

英國艦隊の增援

スコットランド經由ヘルシングフォルス報道によればクロンスタットに集中せる英國艦隊は增援を得たり目下クロンスタットは火災中なりと報ぜられつゝあり(東京電報)

墺修正案撤回乎

支那講和委員陸徵祥氏の政府に達したる電報によれば對墺講和條約修正案は到底聯合國の賛同を得難きを以て墺國より之を撤回すべき模樣あるが結局原案通りに調印せらるべしと(北京電報)

航空軍事條項可決

最高會議は對墺條約中の陸海軍及航空條項を可決したり(巴里電報)

ク首相巴里歸着

佛國首相クレマンソー氏は二十二日巴里に歸着す(巴里電報)

ウ氏演說別報
米上院外交委員接見席上

米國大統領ウィルソン氏は上院外交委員と接見せる席上演說して曰く余は諸君と率直に且つ完全に意見を交換するの機會を得たるを喜ぶ余は此の會見が諸君の

講和條約を再考

せらるゝ事を助成せんことを希望す惟ふに米國に於ける事態を平靜に復せしむることは總て上院の講和條約に關する決定に俟つ此際米國の國論を調節するには各黨各派の私心無き協同を要す吾人は平和を確保する迄如何なる大なる陸海軍を維持せざるべからざるかに就ては未だ明確に決定したる所無し米國にして今直ちに講和條約に就て去就を決せずんば英國、白國又は佛國の如き既に講和條約を批准し又は批准せんとする國民は米國の競爭に先じて中央に於ける市場を支配するに足るべき

計畫を遂行し得

べし國際聯盟の或る條項の意味及び其の適用範圍に就て或る疑義を懷く者を除き何等講和條約の批准を遲延せしむる理由無しと信ず而も予は如何にして右の如き疑義を懷く者あるかを諒解する能はず國際聯盟は明白にモンロー主義を確認せり聯盟規約第十條の意味に就ては宣戰講和の諸案件に關し米國議會は憲法に依り獨立して是れを行使するの權利を有す米國は海底用通信の爲めヤップ島の管理權を得るやも知れず日本の山東に關する秘密條約は然る目的の運用とは抵觸せず余自ら講和會議に於て

ヤップ島の管理權

は海底電線の所有權及び運用に就て聯盟會議に於て考慮せらるべきものとして保留せらるべきことを特に言明し置きたり國際聯盟規約及び講和條約は現在の儘にて承認するか或は全然是れを拒絕せざるべからず修正又は保留を爲すことは其の結果聯合國として講和條約全部を改訂するの必要を生ずべし斯くして改造せられたる條約は遂に列國をして是れを批准せしむる能はざるべし(華盛頓電報)

紐育の同盟罷業
紐育始つて以來の大混雜

紐育の地下及び高架鐵道從業員の同盟罷業は紐育始まつて以來の大混雜を來せり十七日は日曜日なりし爲め差したる不便無かりしも十八日に至り交通機關の整否が如何なる影響を及ぼすかを明かにせり地上電車は運轉し居れるも到底多數の通勤者を運び切れざるよりハイラン市長は千臺に近き乘合馬車を驅り集め其の他諸種の方法を講じ漸く運搬せる有樣なるが不幸にも大雨の爲め非常の混雜を來せり但し死傷者無し(紐育電報)

對支貿易現狀
幾分復活の兆

漸らし結果昨今漸く各商品の拂入を已むを得ず臨機の措置として[illegible]底を來すに至りたれば商人側はてマンチエスターに於て買付け[illegible]商は益々拂底し今や需要期節に[illegible]減少したる結果こ[illegible]して其價[illegible]つて市中銀行の手許[illegible]の放棄[illegible]

米飛行中尉歸還

華盛頓十九日發電に曰く墨西哥山賊のため捕へられし米國飛行中尉二名は米國某大尉が賠償金を交附したる後國境を越へ米國へ歸還せり陸軍省は右に關し愼重なる陳述書を發表せんと準備中なり(桑港電報)

米軍墨國へ進入

亞米利加軍隊は墨西哥國境を通過し米國中尉二名を捕へたる山賊を追擊しつゝあり兩飛行家は右軍隊を案內し他の飛行家は偵察飛行をなしつゝあり(華盛頓電報)

露支兵の衝突
交戰一時間双方に死傷者あり

一面坡來電によれば十九日哈爾賓を發しニコリスクに向ふコサツク三百名を搭載せる軍用列車と同じく哈爾賓よりポクラニチナヤに向ふ支那兵六百名を載せたる軍用列車とが同時に一面坡に停車し居りたるが午後六時右露軍列車に聯結せる裝甲車を數名の支那兵が覗んと附近に集まり居たるを露兵は之を追拂はんとせるに支那側は退かざるを以て露兵は激怒して其場に支那兵一名を射殺せるより兩國兵の戰鬪となり交戰一時間にして休戰せるが支那側は死者二十名露兵死者三名を出だせり同地は去る十三日大集團の馬賊に襲擊され再度の襲來を虞れ市街は門戶を閉して休業警戒し又在留邦人は哈爾賓の日本軍に派遣を請ひ舊露國政府兵舍に集まり避難中なりしこゝとて此の衝突戰の銃聲を馬賊の再來ならんと非常に恐怖し騷動を來せり而して兩軍休戰と同時に支那側は露國側に談判解決を申込み將校二名停車場に到り露國側司令官と會見し談判の結果此儘兩軍夫々用列車を當驛に置くは危險なりとて支那側軍用列車は直ちに隣驛に回避せしむることを約束し解決せるも露國側に捕へられたる支那兵五名は引渡されず露國側に拘束し居れり支那側の泣き寢入りに終るならんか(長春電報延著)

オムスク政府藏相新任

戰時中露國駐外財務官たりしホンホエヤー氏はオムスク政府藏相に任ぜられたるが一般財界は同氏の就任を歡迎せり(オムスク電報)

英公使對支意見
支那の對墺條約に關する

陸總理代理は二十二日英國公使ジョルダン氏を訪問し對墺條約中支那に關する條項の改訂に關し意見を聽取したるに公使は墺國の修正案は到底聯合國の同意を得べきものにあらず支那が特別委員會にて決議せしは適宜の處置なり而して支那外交が多端多事なるは慨嘆に堪へずと答へ更に新借款問題の質問に對して日本が滿蒙除外を提議せしは米國の新借款組織の精神と相反する事甚だし英國は萬事公平を持するものにして此際日本の主張に對し何等の意見を述ぶる能はずと述べ又借款の期限を一箇年に延長せしが這は日本の外交的勝利なりと賞し此頃聞く處に據れば軍政府は秘密に小借款を行ひつゝある由なるが這は將來の大借款の障害となるべしと告げたり(北京電報)

支那の態度強硬
對墺條件修正に對する

二十四日午後秘密國務會議を開き其結果巴里委員に訓電を發せるが內容は墺國講和條約に對する最後の決定を爲せるものにして支那に關する條件五箇條中第五條は讓步の餘地あるも其他の四箇條は全然修正に反對にして其目的を達せざれば調印を拒絕し國際聯盟には他の方法を以て加入すべく陸徵祥王正廷氏其他四名の委員に其手段を採るべく命じたり(北京電報)

唐氏軍政府に不滿

唐紹儀氏は和議停頓以來廣東軍政府が頻々として人を北京に送りて暗中飛躍をなし南方代表者には何等相談せざるのみならず最近王揖唐氏任命に關しても軍政府に電報にて其の意嚮を尋ねたるに今猶何等返答なしと語り軍政府に對して不滿の口吻を洩せり(北京電報)

米資借入運動

徐樹錚氏は醫豎自動車會社の紹介にて遼藥公債一千萬圓を擔保とし某米國資本團より四百萬弗借入れ遼藥銀行を資本銀行となさんと計畫中にて金利七分手取九十八弗の契約なりと(北京電報)

和平期成會決議

上海和平期成聯合會は廿二日午後開會し南方に於る王揖唐反對の聲甚だ高きを以て双方代表者は別人に代ふべく彼等は絕對に不可也と決議せり同會は改學會の機關なるは注目すべし(上海電報)

園侯動靜
講和事務所設置

廿四日歸京せる西園寺侯は巴里に於ける講和外交の殘務整理を爲す可く廿五日より講和事務所を永田町首相官邸に設置し同朝十時より出動原首相にも會見報告し種々會談せり(東京特電)

總督總監送別

原首相は二十五日正午齋藤總督水野政務總監を官邸に招き送別の午餐會を催し古賀拓殖局長高橋翰長等陪席せり(東京特電)

朝鮮紡織總會

朝鮮紡織會社にては二十五日午前十時より鐵道協會に總會を開き年七分の補助金許可の報告あり次いで當期利益金千二百九十七圓三十六錢を後期繰越に處分し更に京城より本店を移轉する事に定款を改正する案を可決し次に姉妹會社たる綿花會社第一回定時總會に入年八分配當案を可決し散會せり(東京特電)

邱浦線開通

鐵邱浦線は八月初めより水害の爲め不通なりしが二十六日より開通せり(大邱特電)

柴田家門氏逝去

從三位勳一等貴族院議員柴田家門氏は家族引連輕井澤に避暑中腦溢血にて逝去せり(東京特電)

略歷 逝去せる柴田家門氏は山口縣士族柴田英佐の長男にして文久二年十二月十八日を以て生る明治廿三年帝國大學法科大學英法科を卒業し仕官して內閣試補內閣書記官大本營附法制局參事官兼內閣書記官等に歷任し同卅一年山縣內閣の成るや擧げられて內務省地方局長兼行政裁判所評定官となり桂內閣の組織せらるゝに及び內閣書記官長に擧げられ次で拓殖局總裁に任じ更に第二次桂內閣に列し文部大臣に親任せられたるも同內閣の倒るゝと共に冠を挂く先是貴族院議員に勅任せられ爾後其任にありたり

逝去せる柴田家門氏

挨拶中卒倒
柴田氏の病狀

柴田家門氏は家族と共に輕井澤に避暑中廿四日西園寺侯の歡迎へプラットホームに赴き名刺を出し歡迎挨拶を述べんとする刹那腦溢血を發して卒倒したるより驛長以下附近に居合せたる者急遽擔架に乘せ手當てを爲せるも二十五日拂曉遂に逝去したるものにて二十六日朝遺骸著京の筈なり(東京特電)

小山東助氏

勳四等衆議院議員小山東助氏は二十五日逝去せり(東京特電)

▲略歷 小山東助氏は宮城縣平民小山長兵衛氏の長男にして明治十二年十一月二十四日を以て生る同三十六年七月東京帝國大學文科哲學科を卒業し東京每日新聞記者となり論說を擔當し傍ら早稻田大學に社會學を講ず次て關西學院文科長に聘せられ橫濱貿易新報主筆となり又宮城縣郡部より推されて衆議院議員に當選する事二回憲政會所屬代議士たり幾に大正四年事件の功に依り勳四等に敍せらる

前總監退城期

山縣前政務總監同夫人及令孃秘書官等は二十八日頃京城出發下關にて水野政務總監と會見事務の引繼ぎを爲し歸東すべしと

物價一齊暴騰

朝鮮銀行の調査によれば七月中京城の重要商品物價は一齊に騰貴しその指數は朝鮮生產品三〇六、六一輸移入品二八七、〇〇(併合當時を一〇〇とし)にして之れを前月の生產品二七七、〇〇並に輸移入品二六二、八〇に比すれば生產品に於て二九、六一の騰貴を來し輸移入品は二四、二〇の騰貴を告げ乃ち前月の生產輸移入品指數を一〇〇とすれば七月は生產品一一〇、六八、輸移入一〇九、二平均一〇〇強乃ち一割以上の騰貴なり例によつて騰落商品の區分並に指數を示せば左の如し

生產品

品名	七月	六月
玄米	四〇七	三八二
精米	三四四	三二七
大麥	二八〇	二二一
小麥	二七四	二五六
大豆	二四三	二二〇
小豆	二四三	二三七
葉煙草	四三八	四〇〇
鹽	二〇〇	一五六
木棉	一九四	一八一
松挽材	三〇三	二六七
松薪	二二九	二一四
白炭	二六三	二二五
紙	三五七	三〇〇
牛皮	一六九	二六二
牛膠	二七一	一九五
鐵原油	四〇〇	四〇〇
明太	五二六	五三二

輸移入品

品名	七月	六月
麥粉	三三三	二〇九
精糖	四四四	三一〇
醬油	一五五	一四八
淸酒	二五〇	二四四
麥酒	一八四	一六九
綿糸	三六七	三四〇
和金巾	三三〇	三〇五
棉花	二四三	二三一
マッチ	二三八	二二七
木材	二五七	二三六
石油	三四三	三四三
石炭	三六〇	三六〇
金物	四一三	四一三
支那絲	二一八	二三六
洋紙	二七〇	二七一

預金利子問題

貸出金利の引上と共に金融界にては金利の昂騰的傾向あるため預金利子の引上說市場の一角に現れたるが各銀行とも貸出利上と略同時に預金利子にも手心を加へ夫れ夫れ引上げ居れるにつき此際表面の改正はなさゞるものゝ如し

株式活躍乎

內地各地の同盟罷業は略片づきたる觀あり又支那のボイコット騷ぎも下火となりしため內地の財界は活勢を添へん模樣あり株式市價の昂騰は因をその點に發し居れるが或は株界の一活躍を來さずやとも目せらる

全鮮虎疫患者

總督府衛生課に係る二十四日現在の全鮮虎疫患者は左の如し

京畿道京城府眞正鮮人一名仁川府支那人疑似一名、平安北道新義州眞正鮮人疑似鮮人各一名、義州郡眞正鮮人一名、龍川郡眞正支那人一名疑似鮮人五名、鐵山郡眞正疑似共鮮人各一名、定州郡疑似鮮人三名、寧邊郡疑似鮮人一名、品城郡疑似鮮人一名にして發生累計數四十三名內死亡二十二名全治一現在患者は二十名にて眞正六名中鮮人四支人一の割合なり而して內地人患者は只一名を出せるのみにて既に全治せり

御認可狀傳達

伊太利領事に任命せられたる京城駐在チエザレー、チリオロ氏に對し今回領事の職務執行に關する御認可狀御下附相成りたるより總督府より右領事に對し傳達したり

外事課長事務取扱

久水外事課長休職となりし結果左の辭令ありたり

朝鮮總督府事務官 青木戒三

外事課長事務取扱を命ず

京城金融組合申請

內地人側の金融組合設置に關し廿四日日出小學校講堂に發起者八十餘名集合し協議を遂げたるが其の結果組合の名稱は京城中央金融組合とし組合長に中井忠三氏を理事に交野熊吉氏を監事に池田長兵衛、杉本喜三郎、古城龜之助三氏を推し近日中に其筋へ設立認可を申請すべしと

鮮滿片々

兼二浦驛落成

兼二浦停車場は豫て驛舍狹隘の爲め昨年末より移轉工事中であつたが漸く全部の工事竣工したので八月二十五日より新驛舍に移轉の上一般營業開始のこととなつた(兼二浦)

橫斷航路と虎疫

敦賀港で朝鮮を虎疫流行地と見做して居るので朝鮮郵船會社では早速其非識を打電して絕對に出入を平時航行と爲すべく交涉中であるが同港朝鮮郵船代理店からの返電によると目下港務部長不在で要領を得ず更に福井縣廳に申請する筈であると(元山)

上半元山驛貨物

本月上半期に於る元山驛發著貨物數量は前途に於ては四月の八千三百餘噸を首位とし前年同期に比し七千九百噸の增加を示し到著貨物に於ては五月の一萬二千餘噸を首位とし前年同期に比し九千餘噸の增加である(元山)

群山新米走

群山新米見本到着と見え大阪堂島商店へ到着したるが早刈の關係上青米の混合多く前年に比し出廻りは十四日頃早く相場は先づ四十八圓見當で作柄は大體平年作を豫想されて居る(群山)

守備隊增築

全州守備隊は今後一個中隊を駐屯せしむることとなつたので元守備隊跡に移轉以來營舍の改築を爲したるが今回更に二萬圓を投じて改築に勉め、同時に南門外に將校官舍を新築する筈で既に地均しも工事に着手し營舍の方は、土塀を取除いて改修に着手して居る此る十月三十一日迄には全部竣成する豫定である之と同時に金堤群山其他に駐屯せる守備兵を引揚げる事となる(全州)

共進會と參考品

咸鏡南道共進會は明年五月を以て開催の運びで目下諸準備著々進捗して居るが先般總督府勸業模範場に對し諸種の出陳用品借用方申込中の處右承諾の旨回答を得た(元山)

取引所設立出願

新總督政務總監の委任期切迫したので此を好機とし十年來の懸案たる群山米穀取引所設立計畫の宿望を達成すべく當地の創立準備委員等は二十三日天野府尹を訪うて陳情書を添へて願書を提出した而して願書は何時にても五十萬圓乃至百萬圓に增資する旨の副申書添付したりと

始政記念廢止

虎疫流行の折柄とて九月一日の第十三回始政記念日には關東廳では例年の祝意を表する儀式的のことは一切廢止し平日の通り執務することゝなつた(大連)

高粱と降雨

旱天打續きの折柄去廿一日來の大雨の爲め廿二日の大連取引所に於ける一般特產物は一般に多少の影響を受けると期待されたが事實は影響は極めて微弱だつた高粱の如きは滿洲一帶の作物不況を懸念され殊に廿一日來の大雨は埠頭の野積品の變質を氣構へ買進む向きもあつた(大連)

江論平野米作

最近忠南江景論山平野及公州地方殷賑の觀察を終へ歸來せる某氏の談に山景論山平野も久しき旱魃に稍去る十五日江景より論山公州の一帶に亘り降雨ありて不充分乍ら作は水不足の嘆なきに非ざるも相當潤ひを與へたれば同地方一帶本年米作は少くも八分作を下ることなかるべし

廿師團長歷訪

淨法寺廿師團長は廿五日午前八時吉澤副官を隨へ近く歸東す可き各前長官を歷訪別離の情を敍したり

○松尾本社理事出張 本社經理局長松尾茂吉氏は社用を帶び廿六日朝出發往復四日間の豫定にて全北方面へ出張せり

○製筵會社新築 朝鮮製筵株式會社にては全州本町四丁目に工場の新築を爲す事となり既に工事に着手し材料は內地より到着したれば九月中には竣成すべき見込みなり(全州)

人事消息

▲古我貞周氏(東京卑島物產商會重役)二十五日入城

鳥瞰錄

ゴールキーが死刑に處せられたと云ふのは眞僞未だ判然しないが事實とすれば彼の生涯は頗る慘憺な一生であつたらしい▲其の自敍傳によると彼は無論裕福な出ではなかつたが幼年の際から讀書狂だつたと云ふ▲或月明の夜月光を賴りに讀書をしやうとしたけれども細字を讀むには光りが不充分であつた爲▲鐵製のフライ鍋で月光を反射させて見たが何等效果がないので▲止むを得ず四辻の街燈下で讀書を續けたと書いてある▲所謂發憤讀書の苦を文字通りにやつた彼の前半生は實に形容の出來ぬ悲慘な境遇から生み出されたものである▲露國過激派の中心人物はレニンとトロツキーだが所謂過激思想のプロパガンダの中心人物は此のゴルギーであつた▲彼が何故死刑に處せられたかは知らぬが文豪としては惜しい人物である▲伊國文豪ダヌンチオが得意の飛行で世界を騷がせて居る今日ゴルギーの死刑は其對照が餘り後半生をして更に一層淒慘たらしめるものがある▲昨日本府に引つ越した警務局は階段を上つたり下つたり恐ろしいやゝこしい官衙に陣取つて初見參者は案內者がなければ滿足に行けぬ處だ▲時の警務事務官大汗になつて『君給仕が不案內だから朝からたつた一杯の茶にあり付いた許りだ』とこぼして居た

東京期米特電 (二十五日後場)

[illegible]

二十五日前場 南滿製糖 大引 四〇、〇〇

商船 一八三、四〇 一、四〇安

同新 一三九、九〇 一、一〇高

下關期米特電

[illegible]

第二回營業報告 (自大正八年一月 至大正八年七月)

貸借對照表

負債之部

科目	金額
株金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	五、〇〇〇・〇〇
準備積立金	五、七一〇・八〇
繰越金	三、〇四一・三二
田中善商同志會	一七七、五〇〇・〇〇
預り金	一六五、〇〇〇・〇〇
假受金	九七、五〇〇・〇〇
社員預り金	八六、七七八・三〇
代理業	[illegible]
未決濟勘定	[illegible]
買先勘定	[illegible]
擔保付借入金	[illegible]
割引手形	[illegible]
社內荷付手形	一二一、六二〇・九六
當期純益金	一三六、九四三・四四
合計	四、〇二五、〇六三・二一

資產之部

科目	金額
銀行株	二〇〇、〇〇〇・〇〇
定期預金	四九〇、〇〇〇・〇〇
別途預ケ金	[illegible]
證據金	[illegible]
當座預金	[illegible]
金銀	[illegible]
貸先勘定	[illegible]
取立手形	[illegible]
未拂込株金	[illegible]
商品	[illegible]
社內未到着商品	[illegible]
合計	[illegible]

損益計算

[illegible]

利益金處分

[illegible]

後期繰越金 [illegible]

右ノ通候也

大正八年八月

田中善株式會社

役員任期滿了ニ付全部改選ノ結果左ノ如ク當選致候

取締役社長 田中善兵衛

專務取締役 野々村佐一郎

取締役 加藤左馬吉

監査役 萩野彌左衞門

▲五ケ年に亘る苦心の大著

即席應用 組合せ式 手紙文鑑

▲どんな手紙でも頭を痛めず即座に思ふ通り書ける新案組立法

▲最新式考案 今回完成せる應用自在組合せ式手紙文鑑は元中學教諭齋藤盧州先生が苦心完成の大著にして今迄に類のない組合せ式なるが故にどんな手紙の下手な人でも一度本書を開けば少しも頭を痛めず考へずに思ふ通の手紙が即座にスラスラと書ける仕組にして全卷を時候、祝賀、弔慰、見舞、推薦、招待、案內、照會、注文、通知、贈答、依賴、勸誘、忠告、交涉、催促、抗議、辯解、承諾、周旋、謝絕、贈答文以下其他あらゆる文例頗句を漏れなく集め三門と九百餘項に分ち有ゆる

(著者貸任質問に應答す)

▲本書は三六判總振假名付八百頁の大冊

特價 第一回 一圓

▲尙此際先著注文者に草書字引一冊無代進呈

振替東京二七四七三番 東京青山南町六ノ四八 有教社

橋本商事信託事務所

▲各種事業企劃及設計

▲財產管理事務

▲財產整理及淸算事務

▲一般代理業務

▲不動產鑑定及調査事務

▲貴重品保護預り

右に關する附帶事務懇切に取扱可申候

土地家屋格安賣物あり御希望の方は御來談を乞ふ

京城本町四丁目百十二番地(府廳前)電話一八二七番

主任 橋本茂雄

顧問 前判事辯護士 切山篤太郎

大正石粉株式會社製品

工業用並消毒用石灰

傳染病豫防公衆衛生ノ爲特別安價販賣

京城義州通一丁目九一 電話八三五番

特約販賣店 石炭商 近藤謙助商店

第二回朝鮮殖產銀行債券募集

募集總額 壹千萬圓(壹百圓、五百圓、壹千圓の三種無記名式利札附)

利率 年七分

發行價格 額面百圓に付金百圓均一

申込期間 八月二十五日より八月三十日迄

證據金 額面百圓に付金參圓

募入方法 應募超過の場合に於ける募入方法は殖產銀行に於て適宜之を定む

拂込期限 十月二十日迄

▲御通知次第參上御相談の上便宜御取扱可仕候

▲詳細は殖產銀行債券募集廣告御參照被成下度候

東京現物團株式會社角丸商會代理店

有價證券現物問屋 ㇵ 京城古市町十四番地 近藤脩商店 電話長六七二番 一八二七番

警務部御認可

衛生無害 **蠅滅** 一名ハイトリサン

傳染病豫防は蠅滅に限る

京城本町警察署衛生課にて御試驗の結果各派出所にて配付し居れり効力偉大

……僞物あり商標に御注意……

御買上の際は包紙青色の分と御指定下さい

御試用分入用の方は十五錢切手封入申込次第送呈す

東洋賣藥會社製造販賣部

京城本町四丁目電車終點 川浪濟生堂藥局 電話一參五八・振替京城四〇〇〇

…の趣向を凝し且つ…して輸入…れ…而し…綿布の如き同地商…個月を要するや殆んど想像を下…金融狀況は最近世界の…最高額が…[illegible]…相當の時日を要するならんと

朝鮮ホテルの送別會（前列）向つて左より鈴木、宇佐美、小原の各氏（後列）同荻田、久水、遠藤の各氏（川口撮影）

轉ばぬ先の杖（三）
虎疫に罹り度くない人は是非お讀み下さい

…豫防上の心得を具體的に申し上ぐるなら先づ第一に嚴に暴飲暴食殊に酒の飲み過ぎや感冒腹冷

心身の疲勞 其他身體に故障が出來るやうな凡ての不攝生をせないやうに且規則正しき寢食起居と適宜の運動をせねばならぬ胃腸を害ふと虎疫に罹り易い次に飲料水は直に飲むにも食物の調理に使ふのにも凡て五分間以上沸騰し之を貯ふるには必ず蓋附の水甕に入れて置くが宜しい又飲食器の洗淨含嗽にも之を用ゐるのが安全である第三には入浴、洗面洗濯其他已むを得ずして

不良の生水 を使用する時には水滴が口內に入り又唇につかないやう氣をつけ萬一入つたならば吐き出してから沸騰水で含嗽するが宜しい又指を口の中に入れるのは危險であるから止むを得ぬ時は刷毛と石鹼、湯を用ゐて十分に洗ひ又食物調理の前後には必ず石鹼を用ゐて手を洗ひ清める事が必要である、第四には飲食物は腐れ易いものや不消化のもの及び生にて食る牛乳、果物、

魚肉一夜漬 サラダのやうなものを用ゐる事を避けなくてはならぬ殊に魚は全く食ないが宜しいのである家庭などで若し強ひて食る場合には魚屋の道具にて切り身にしたものを其儘に直に煮るべき鍋に容れて能く煮なければいけない又商家にて調製せる食品例へば餅菓子煮豆などは危險である果物の中で最も恐ろしいのは下痢を起し易い甜瓜、西瓜等であるから然し

是非果物を 用ゐねばならぬと云ふ場合には林檎梨バナナなどを皮のついた儘に暫時千倍の稀鹽酸水に浸して其の後一應煮沸した水で充分に洗ひそれを膳に上せば安全であるパンは燒いて其の外皮を除いて食るが宜しい砂糖や醬油のやうなものも煮沸して用ゐる方が安全である第五、飲食物を調理した後は必ず蠅が附かないやう蓋ひをなし萬一蠅が附いたならば之を棄つるが宜しい

新記錄
南米横斷飛行

伊太利飛行中尉の壯擧 亞爾然丁に派遣されたる伊太利飛行委員ロカテリ中尉は廿一日ブエースアイレスより飛行機にてサンチアゴ（智利首府）に到着せるが中尉は千五百哩の距離を飛行したるが南亞米利加を横斷し大西洋より太平洋に飛行せるは同中尉を以て嚆矢とす（サンチアゴ電報）

薔薇香る後庭にて
前長官局課長の送別宴
廿五日夜朝鮮ホテルに於て

永きは二十有餘年短きも十年に亘る長日月我朝鮮の爲めに職を官途に奉じたる宇佐美、小原、鈴木前長官荻田前局長久水、久芳、遠藤前三課長等七氏を送る可き

祖道の宴 は豫報の如く二十五日午後七時半より朝鮮ホテル後庭涼しき噴水の飛沫に薔薇の薰高きローズガーデンに於て盛大に開催せられたり會場は定刻前より多數參會者を以て埋められ今宵を名殘りの挨拶彼處此處に交換せられ軈て定刻ともなれば豫て設けの野外食堂を開き七氏を正面にして一同着卓す此時中樞院副議長

李完用伯 は主人側一同を代表し田中德太郎氏の通譯にて朝鮮語を以て大要左の如き送別の挨拶を爲せり宇佐美小原鈴木荻田久水各閣下並に久芳遠藤兩氏、本夕は聊か送別を兼祖餞を呈する爲御招待せるに特に斯く御臨席の榮を得る事は吾々の

深く感激 に堪へざる所なり、聞說古より『會者定離』の言あり今日の別離は各位と面知の當初に於て豫て期せざる可きには在らざるも今日に及ては誠に別離の情に堪ゆるもの各位は近く朝鮮を去ると雖も希はくば永く久しく朝鮮の爲將來共御援助を吝まれざらん事を希望に堪へず茲に一同七氏の健康を祝する爲乾盃し次いで宇佐美勝夫氏は立ちて

之に答へ 韓相龍氏の鮮語通譯にて大要左の如き謝辭を述べたり『不肖七人を代表して茲に謝辭を陳べんとす本夕は特に吾々の爲め斯く盛大なる送別の宴を張られたるは身に餘る光榮にして深く感謝せずんば非ず吾等七人は各自其爲せる所を異にすと雖も永きは二十年短きも十年

朝鮮 にありて職を官に奉じたれ元より非才何事も爲す事無かりしは衷心忸怩たるものあり而も閣下並に各位の御援助と御同情とにより今日あるを得るは眞に感謝に堪へず吾々は近く朝鮮の地を去て內地に赴くと雖も精神は永く朝鮮の事を忘るゝ能はざるべし希くは諸君の益々健在ならん事を茲に盃を擧て諸君の健康を祝せん』とて

一同乾盃 瀏喨たる奏樂の裡に主客十分の歡を盡し散會したるは九時なり尙ほ當日の參會者は三百餘名に上り非常の盛會なりき

兩滊船坐礁
危險狀態に瀕す

日本汽船陽明丸神武丸の二隻は二十日濃霧中に坐礁し陽明丸は危險狀態に在り（シヤトル電報）

馬賊擊退さる

汪清縣百草溝奥地駱駝砬子地方の森林地帶に集屯しつゝある馬賊の斥候約二十名は騎馬にて此程百草溝に現はれたるを逸早く間地の官兵發見し終に是を擊退したり一說に依れば馬賊團は糧食涸渇にして彼方聯絡を有し居れるが一方討伐隊は往々糧食を缺き士氣阻喪し居れりと

故趙子爵の家庭
哀み鎖ざす
夫人は佐賀縣志士の娘 長男は王世子の御學友で陸軍少尉 內鮮同化の好模範

故趙重應子の遺族は嗣子大鎬氏（三七）二男文鎬氏（二三）長女淑鎬孃（一七）の外に故子爵母堂朴氏（八三）未亡人竹子夫人（四〇）嗣子夫人朴暖瑗氏（三七）の六名にて第二世子爵たるべき大鎬氏は幼より頴悟

王世子殿下 の內地に遊學せらるゝ際御學友として渡航せし以來常時御側を離れず現に陸軍步兵少尉に任じ王世子附武官として令名あり父子爵危篤の報に接するや直ちに東京より歸鮮し生前に於て哀別の情を叙するを得しは不幸中の慰藉のよすがなり竹子夫人は佐賀縣の志士光岡貞延氏の息女にして貞淑温良

賢夫人の譽 あり故子爵が李埈公を首め趙義淵、朴泳孝、兪吉濬の諸星と今より二十餘年前內地へ亡命の當時娶嫁したるが故子爵と此の夫婦間は琴瑟極めて相和し文鎬氏淑鎬孃は其出なり平素は子女の養育の爲に東京に在住せしが子爵の病革るや四箇月前より歸鮮し

病夫を勦り 夜も寢ず熟心看護に努むる態は見るも痛々しき限りにて子爵愈々臨終の際の如きは悲に得堪へず終に卒倒するに至りし程にて唯に日鮮同化の魁たるに止まらず世に貞淑眞に婦人の龜鑑と謂ふ可し母堂朴氏は既に八十三歳の高齢只一人の杖とも柱とも賴む子爵に先立たれし事なれば其

悲哀推して 知るべく朴暖瑗夫人が舅子爵の看護に意を用ひしも肉親の叔姪の間柄とは云へ又稱するの價ありと人々其美しき家庭を追憶するも哀れ深く未だ幼けなる温愛の父に訣る、文鎬、淑鎬二子の頑是なきは一入涙の袖を濕すなり

別れを惜む婦人達

愛國婦人會京城支部に於ては國分持地松永佐々木峰尾中村各夫人主なる發起人となり今回轉任又は退官となり近く京城を去らんとする鈴木小原荻田久水久芳前田橋本の各夫人を主賓とし二十五日午後一時より京城ホテルに惜別の宴を張りたるが來會者は來賓役員會員を合して約六十名なり定刻に至るや國分夫人一同を代表して送別の辭を述べ大橋主幹來賓代理として之に應へ和氣靄々裡に同日三時散會せるが多年袂を列ねて親しく會務に勵み來りし人々が今俄に遠く離れ行く哀別に何れも別離の情更に切なるものあり團欒の間にも何となく寂き影の漂ひぬ（寫眞右より小原、鈴木、久水各夫人）

疑似菌發見
仁川の虎疫

二十三日午後四時入港第十六共同丸に虎疫患者發生し疑似として月尾島檢疫所に收容顯微鏡中なる事は既報の如くなるが檢鏡の結果疑似菌發見されたり患者は芝罘より來航せる支那人なるを以て傳染系統明瞭ならざるが故に眞正と見るも差支なき事情にあり依つて當局は此際直に相當の防疫處置を執る事となり近く道令を以て仁川港內及附近の漁場一切の漁撈を禁止し尙海水浴をも禁止すべし漁撈禁止區域は港內及八尾島舞衣島遊、永宗の諸島栗島虎島附近なるが更に船舶作業に從事する人夫其他に對しては此際に於て必ず豫防注射を施し嚴行する必要あるべしと（仁川）

鄭家屯虎疫延蔓

數日前より鄭家屯に虎疫發生し今や城內に蔓延の兆あり既に死亡せるもの二十餘名に上れり（四平街特電）

檢疫施行中
解纜時刻繰上

關釜連絡船は虎疫檢疫開始中定刻より三十分早く釜山を解纜する事となりたるが南大門驛發午前七時半釜山着列車は從來停車場にて下車せしめたるも此の期間中棧橋にて下車せしむる事となりたり

賠身料六萬圓也
馬賊頭目修德山の要求

近藤巡查部長及び鮮人二名を擧に人質として拉去せる馬賊頭目修德山一派の集團は討伐隊其の宿營地の附近に進みたる爲め其の擒を樺甸縣と安圖縣の縣界古洞河に轉じたり而して同地方の巡警及び衛隊は之を包圍しつゝあるが頭目修德山は同地方に勢力を有するを以て其の包圍は

お役目丈け の形式に止り却つて款を通じ居れる疑ひあり又支那官憲は人質返戾しの交渉に對し修德山は舊圏の巡防隊將校に採用すべき事を執りこの妥協案を肯んぜず曾て賠身料二萬圓とありしを六萬圓にあらざれば放還せずと豪語し交渉の局に當りたる者は此旨支那官憲に報じ支那官憲には策の施しやうなく今や拱手傍觀の態修德山の主張に依れば目下

部下千名を 擁し其れが爲め莫大なる糧食を要するを以て賠身料六萬圓に達せざれば是れに應ずる能はずと固執して動かず這次の交渉は全く不調に畢り支那官憲は善後策に對し苦心中なるもその討伐隊の如きも單に示威的態度を支持するのみこの情報二十五日某所に達せり

龍山防疫に努む
水陸呼應して

仁川入港の共同丸船客支那人の患者は愈眞性虎疫と決定せば仁川と龍山とは舟行の便あるを以て何時襲來するやも圖るべからず龍山憲兵分隊にては嚴に警戒中なりしが更に警戒を嚴にし橋梁其他河筋に警戒線を張り苟くも異狀ある風態の者に對しては檢疫し一歩も虎疫を龍山に入らしめざらむと努力しつゝあり

又下患者に對しては京城龍山兩驛の結果停車場構內に天幕を設け龜田衛生主任以下數名詰切り檢疫し又麻浦桃花洞元町四丁目二村洞等貧困鮮人に對しては無料豫防接種を實施する事に決定し二十六日は二村洞總代木谷安吉氏方に同村鮮人一同集め豫防接種すべしと官憲に於ては極力外部より襲來の虎疫に對しては防止すべきを以て龍山市民は各自衛生の道を講じ虎疫に罹らぬやう攝生せられ度しと

臨海日誌
愉快な地曳網
濱邊は大賑ひ

八月十二日 月曜 晴　女子教員養成所 當番生

今朝は元山府商、會議所、警察署等の特別の御厚意によつて我等一行の爲に地曳網を寄贈下さる日であつた。喜びを禁じ得ない樣な面持で朝食の膳に向つた。豫定の時刻の九時半にて近くなるとソロ〳〵出かける用意を始めた。

やがて勇む心を面に包み、渚をつたつて松林中に至れば漁夫數人は煙管の灰を落して小舟に打ち乘り引網の一端を殘して沖へ〳〵舟を漕ぐ。紺青の海原波靜かにして廣大無邊である空高き所に輪を描く鷲一つ、又青き崇高な平和の氣に溢たされずには居られぬ。既にして沖遠く網を作つて彼方の汀に引網の他の端を上ぐ。

海水衣を着けた四十の乙女は二手に別れ甲斐〴〵しく曳き始む。漁夫の一人『エイ』と云へば二十の口は一齊に『エイ』と應へ『エイ』『エイ』の掛聲彼方と此方とに相呼應し浦に響きて勇ましく又面白し力に任せて曳くほどに太綱は幾度か切れた。裸體の漁夫の飛び込み或は水をくゞつて網を繼ぎ合すなどの騷ぎも起つたがこれも亦興を添た。漸くだん〳〵曳き寄せられた網の中に魚のチヨロ〳〵騷ぎ泳ぐ樣面白し網はだん〳〵引きよせられる『引ケ引ケ』の漁夫の叫び聲に一同力づけられエイヤ〳〵と引く。網はだん〳〵繰り上げられ袋網が近寄つた。網の中の大小の魚は周章狼狽して網の目を突いて騷ぎ廻つて居た。曳く人も見る人も皆一所に集まり拍手喝采喜び騷ぐ。動物學の研究の始められた如く鰭がどうの、尾がどうの…鯛ありサヨリあり蟹あり河豚あり又名も知らぬ小魚が幾種類なるかを知らぬ蟹ははいだす河豚は膨れる小魚は砂にまみれてピチ〳〵あたりを跳ねかへる、一々拾ひ上げては籠に入れる。かくて第一の網は終つた。又第二の網は張られた今度は前に優りて巧に曳き上げた。網は一度も切れなくて獲物ははじめの三倍を越ゑたよと思ふ。終に大笊の三分の二を占むるに至つた。獲物は宿に運ばれた。一同は疲れた身體と重い足を引きずつて歸つて來た。空腹を覺えたので晝食は流石においしかつた。午後三時頃からは例の如く海水浴にと出かける者もあつたが朝間の曳網に疲れて休んだものもあつた位である。夕陽の赤い光が窓に強く射し込む頃、食卓の用意が出來た。先生方を中心として生徒も共にズラリと食膳に向ふ、我が手によつて漁した魚……『美味よ』と言はずには居られなかつた。かくて八月十二日も思ひ出多き一日として愉快に暮れた。

東京株式 [illegible]

兩部留別會
京城憲兵隊

隊管下並に道第三部管下の職員一同は官制改正の結果憲兵隊の分離を見るに至りたるより相互留別の爲め二十五日午前十一時より景福宮內勤政殿に於て記念撮影を爲したる後慶會樓にて茶菓の饗應ありたり

各地最高温度
（廿五日午後二時測定）

群山	九十四度五分（晴無風）
鳥致院	九十度東北微風（晴れ）
淸州	九十二度五分、北微風
春川	九十二度三分、稍曇
元山	七十三度、朝來強雨あり雷烈し
淸津	七十八度
釜山	八十六度九分、南東の風強く午後四時より雨模樣となる
大田	九十二度、午後七時より夕立に雷鳴
大邱	八十一度六分南風
木浦	八十八度曇天

應援隊出發
國境方面

防疫事務應援の爲め出張を命ぜられたる京畿道第三部千葉巡查部長以下十四名は二十四日夜十一時出發せり

運動界
野球決勝戰
慶應軍捷つ

慶應對滿鐵倶樂部の野球決勝戰は廿四日午後四時より大連滿鐵グラウンドにて擧行兩軍共に互角の勢にて十一回迄戰ひ慶應四對滿倶三の成績にて慶應の勝利に歸したり當日は風無く近來の好日和なりしかば觀客多く歡聲裡に終了せり（大連特電）

避暑地投票
第三十四回發表

海雲臺	三萬七千二百九十五票
儒城	二萬四千四百四十八票
馬山	二萬二千九百二十八票
水安堡	一萬四千[illegible]百八十二票
溫陽	一萬千八百十三票
東萊	七九五二二票
金剛山	六五五三三票
釋王寺	四三四七七票
元山	四一七一一票
黃海 正方山	二三一七七票
仁川	二〇一八八票
水原	八百二十一票
俗離山	七百四十五票
淸道藥水瀧	三百九十二票
扶餘	三百七十二票
冠岳山	二百八十八票
統營	二百七十五票
鎭海	百四十六票
木浦	百二十一票

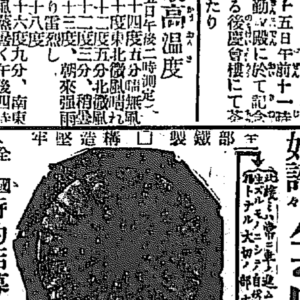
（百票以下）釜山郡五山里公園、裡里、內藏山、劍拂浪、公州、光州、平壤、逍遙山、九味浦、夢金浦、咸陽、松島、南原、淸津、全州、慶北周王山、開城、摩天山、平康、古群山、鷄龍山、井邑七寶山、同春溪、咸北朱乙、龍岩浦

地方よりの投票は廿五日日付のもの迄有効發表は來る三十日右は廿五日午后四時廿分締切なれば以後廿五日中に到著の分は更らに加算す

特許 實用新案 商標 意匠 代理 特許辨理士 前特許局審判官兼審査官 正五位 工學士 押田 翼 大阪市北區堂島濱通一丁目 電話北長一七九〇番

◎化學工業藥品 ◎分析藥品器械 ◎工業用酸類 ◎製革用藥品 ◎鑛山用藥品
島久商店 京城明治町二丁目 電話長一四四四番

勞力半減 道路保護 牛馬虐待防止
效力偉大 好評嘖々
無限軌道
（全部鐵製口構造堅牢）



比較ニ八常ニ車ノ進ム方向ニ自然ニレールトナル大切ノ部分ナリ

改正定價（各營盤に付）
普通荷車用金參拾八圓
二輪荷馬車用金五拾九圓
二輪牛車用金六拾九圓
四輪荷馬車用金七拾九圓
日本內地送料不要
◎現在使用の荷車に此無限軌道を付ければ半分の力で車が樂に曳ける
◎惡道泥砂道バラス道等は二倍以上偉大なる效力を有す
◎無限軌道は現在の荷車に何等の道具も要せず其儘容易に取付出來
全國各縣下特約店募集
無限軌道製作發賣元 大阪西區新町南通五丁目 合資會社 持田商會無限軌道部 電話新町長一七八九番 振替大阪四五三六番
支店 廣島縣海田市町 出張所 港埠頭
工場增設、製作迅速

內科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目（商品陳列館前） 院長 醫學士 村上龍藏 電話六一一番

胃腸藥 タラコンの眞價
◎村井弦齋先生 發見のタラコンが胃腸病に卓効あるは世間識者の確認せる所であつて之を連用すれば弛緩だ胃腸の筋を引締め其活動を順當にし胃液の分泌を整正して消化を好くし腸の蠕動吸收を順調にして便通を整へ從來不治の難病として醫師も匙を投げた胃癌、胃潰瘍、胃擴張、胃酸過多症を始め腸の諸疾患等あらゆる胃腸病に靈驗あることは既に幾萬千の重症者を救ひ得たる事實に依つて證明せられて居ますが更に今般東京帝國醫科大學教授及同大學病院藥局
◎近藤藥學博士 劑部長松田秀松氏がタラに就て研究せられた記錄に徴すれば急性は勿論慢性の胃腸病を根治し食慾を進め消化を佐け健康を增進することが確實で即ち科學的に其卓効を裏書せられました斯く實驗上にも亦科學上にも靈驗卓効を認められた胃腸藥は古今東西曾て其比を見ず藥學史上に特筆大書すべき新藥であつて弊園の深く光榮とする處であります
藥價 飲藥煎藥各五十錢・一圓廿錢・二圓五十錢、五圓 送料 十二錢・海外四十五錢……（各藥店にあり）……
本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園（電話小石川二五六 振替東京一〇八二）

內科 小兒科 入院隨意 ヂアテルミー科 中島醫院 京城府明治町二丁目（本町五丁目横より入る） 電話三七八番 （普通病室 特別病室） 院主 中島貞信

買入札 …十六日ノ…[illegible]…京城郵便局

法人登記
金城金融組合 大正八年四月八日定時總會ノ決議ニ基キ總督ノ認可ヲ受ケ目的ヲ變更シ組合員ニ非ザル者ヨリ預リ金ヲ爲スコトヲ得ル右大正八年七月拾七日登記
京城地方法院 金化出張所

龍 開灤商會
公債株式現物賣買 證券担保之金融 代理 工業藥品 理化學器械 滿洲製紙會社 特約店
大連株式商業組合員 滿洲證券現物市場仲買 大連市若狹町一二三 電話長一七九八番 振替大連二一〇二番

朝鮮總督府中樞院顧問 從三位勳一等子爵趙重應 病氣ノ處養生不相叶本日午前十一時京城府永樂町二丁目八十五番地自邸ニ於テ薨去候間此段御通知申上候

出棺 八月三十日午前七時（永樂町自宅發靷）
永訣式 同日午前九時（東大門小學校前）
安葬 同日午後十二時（京畿道楊州郡漢金面一牌里先塋）

大正八年八月二十五日

嗣子 大鎬
次子 文鎬
親戚總代 子爵 趙豊鎬 趙重憙 趙民熙 徐相勛
友人總代 山縣伊三郞 水野錬太郞 伯爵 李完用 子爵 閔丙爽 子爵 宋秉畯 男爵 韓昌洙 宇佐美勝夫 松永武吉 兒島惣次郞 德富猪一郞 國分象太郞 金谷充 趙鎭泰 白完爀 韓相龍 芮宗錫

みだれ咲き

第百廿九回 島山碧波作 森田久畫

旅館の一室に何事もせずに日を暮したお蓮は、夕食を終ると散歩と稱して外出した。由比が濱の上に懸る下弦の月は、此の仙境を朧に浮かして、灯の點された湯の町の浴き宵は、戀に生命の洗濯をする若き男女が樂さうに手を曳き合つて往來して居る。

『あの人達は嘸世の中が面白いだらう』

若い血の燃るお蓮は、是れ等の人々を眺めてホッと溜息を吐いた。

『あの人はモウ歐島を出發かしら』平素は斯んなことを氣にしたことの無いお蓮が、イラ／＼する心を鎭めやうともせず。

『私には一生こゝが出來ないのだらうか』

彼の女は狹い湯の町を眞直に濱脇の方へ急いで行つた。四邊に氣を配りながら、道を急いで絃歌に湧く濱脇の郭を通つて海岸の方へ急いで行つた。

『今夜出宮と子爵夫人と密會したら、どんな相談をするか殘らず聽いてやらう』

渚に訪れる優しい女波が、銀線のやうな飛沫を降らして波打際に佇んだ彼の女は、暗の彼方を透して一人何か首肯た。

『どうしたのだらう、今夜は來無いのかしら』

海岸へ最後の運動がてら散歩に來る者はあるが、夫れらしい人の姿は見ゑ無かつた。

『確に今夜は出掛けて來るのに違い無いが時間が早いかしら』

お蓮は何ほも瞳を据て往く途の暗を透して見た。

『其處へ來たのは艶子さんではありませんか』

不意に目と鼻の間なる砂原へ引上げられた漁舟の舳から彼の女を艶子で無いかと訊した者があつた、と同時に今まで腹這ひになつて居たと見れ、一個の黒影がムク／＼と起き上つた。

『……………』

云ふまでも無く聲の主は出宮に違ひ無い、流石のお蓮もハッと胸を躍らせて返答が出來無かつた。

『艶子さんじやありませんか』

彼方でもどうやら暗を透して居るやうであつた。

『い、ゑ……』

お蓮は態と當惑したやうな態度を示して其處から離れた、と同時に心の内では聲の主が何者であるかと云ふことを看破し

『矢ッ張り來て居る!!』

今となつては出宮の爲めに聲を掛けられたのを喜んだ、さうして約十二三間も離れると、身體を屈めて其の後の行動を監視して居た。

『出宮と云ふ人は斯んな處で待つて居たんだ』

彼の女はヒョッとしたら今日の霽間に子爵夫人と出宮との會見が行はれやせんかと思つて居たのに、斯うして出宮が海岸に出て來て居るのを確かめると、出宮は旅舍の女中が噂をして居た通り、此の土地の藝妓の許で暮して居たのに違ひ無いと思つた。

『あの男と夫人との關係はどんな位まで進んで居るのだらう』

動きの取れぬ處を押へた後、近き將來に於ける大金儲けの材料にしやうと思ふお蓮は、眼を皿のやうにして其の後の樣子を伺つて居る時、自分の前を足早に行き過ぎる一人の婦人、夫れは夜目で面は判らぬが確に門司の川卯旅館で逢つた子爵夫人に違い無かつた。

『あゝやつて來た』

胸を躍らせたお蓮は、身を屈めながら出宮の潜んで居た漁舟の方へ近付いて行つた。

『よく來て下さいましたのね、貴郎の仰しやつたことを聽きましたが、モッと手ッ取早く片の付く方法は無いでせうか』

二個の黒影が一つになつたと思ふと、子爵夫人の斯うした言葉が手に取るやうに風に送られて來た。

タオル 諸戸タオル滿鮮一手販賣 京城若草町四〇 卸商 上月商店 電話一〇三五番 振替京城五三三一番

盲目的な戀愛結婚は危險

子孫の不幸

結婚は何ういふ風にするのがよいかといふことはなかなか難しい問題で、當人同士がよく知らぬ間に、親達が勝手に定めるのも面白くはありません、と云つて當人同士が一時的の盲目的戀愛から將來＝殊に子孫に關する幸福までも犧牲にして結婚することも考へものです、社會にとつても一家にとつても甚だしい迷惑となるのは精神病者、神經病者、低能者、犯罪者、酒亂家、不良少年、浮浪者でありますが、これ等は決して突發するもので無く兩親、祖父母曾祖父母系中の誰かにさういふ種類の人があつて遺傳の系統を引いて生ずるのですから夫または

妻の親

及び先祖にさういふ種類の人が居るかまたは大酒を飲んで體を疎略にしたり花柳に耀つたりしてその子に酒毒、梅毒を遺した人があるかどうかをよく調べなければなりません（酒毒、梅毒は其子孫を低能なものにします）ある實業家は立派な人ですが低能な神經質な卑しい婦人を娶とした爲に生れた子供は五人の中、四人までは低能、殘る一人は夭折しましたその孫に當るものにも多數の

低能者

が出來たといふ例があります、また父が貧民窟に住む浮浪者で酒飲みでしたが近所の愚な女と私通して六人の子供を拵へました處、皆低能者でその中四人まで犯罪者として監獄に送られたさうです、精神病大家クレペリン氏が調査した四千七十六人の精神病神經病的變質者の發生原因に就いての統計によりますと△遺傳百人中三十人△酒毒百人中二十二人△梅毒百人中十八人△老衰性動脈硬化性百人中六人△精神的原因百人中三人△傳染病關係百人中一人△病因不明百人中廿七人といふことになつて居ります

送別俳筵吟

（二十四日夜靜軒居にて）

留別 關屋鼎

十年の白髮を見ゐり今朝の秋 小原烏兎
なかくに露凉しさや劍解く
劍解いて糸瓜の風に伸ぶ心
草の戸に風凉しさや素つ裸
おさらばと夕を秋の水速し
此國の行末夢に涼しかれ

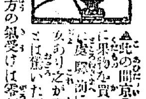
送別 芳賀東山

筆取つて語り合ふ夜の明易き 森安崖城
理は知れど秋風の身にしみ 坂出森堂
南へくと尸の行く日かな 岡本桂堂
薄原君が行くなり初嵐 上田袋人
團扇置いて歸へる袂の涼しけに 松尾目池
廿一人酒壺打かこむ花野哉 中村烏堂
日焦け胡瓜がんばつてたんき別れ 大道魚骨
默然と秋語る虫を聞く夜哉 青木郡軒
ものなべて居士去る秋のさびしさよ 塚原湖東
君を送る南山の松蟬しぐれ 山口皐天
星こんで俳座さびしく秋の立つ 武藤琴川
訣句〳〵秋の夕の別かな 小川亂石
秋立つ君立つ富士を遠う仰ぐ 本堂盤歩
漢江に足洗ふ人の顏涼し 三好不孝郎
あの田一聲ひとこゑ明け行くしらじら 荒牧句平
五十三次秋も晴れ〳〵 野崎眞三
わたしの白茂の中へはいつてしまつた

老眼鏡生に答ふ

淺學な私の答だから果して正鵠を得てゐるか否かは疑問だけれどもそこは諒として貰ひたい（一）プロパガンダ ローマ教で謂ふ布教機關の傳道を取扱つて居た所から來た言葉で今では『何々主義のプロパガンダ』などと言つて『宣傳』と譯されて居るやうです（二）ブルジョア よく調べて見ましたが解りません此の語の出所を御知らせ下さいましたら更めてお答へしませう（三）プロレタリヤ これは佛蘭西語のプロレーヌイレーに相當しかの有名なる佛蘭西革命史によく出る言葉で『賤民』とか『第三階級』とでも譯されるものです（四）ボリシエヴイキー『過激主義』とでも譯されるもので社會を根本的に改造しやうとする恐ろしい社會主義でかの露西亞の狀態の如き諸君の御承知の通りである（五）ユートピア これも社會主義に關係あるもので『理想國』と言ふ樣に譯されて居る先哲が理想的な社會制度を想像して案出したもので種々な種類がある例へば古代のプラトンの『民政』と云ふ書物は希臘のアゼンスとか其他の都市に於て久しく貧富階級に行はれた爭鬪に對し國家の管理には個人的生活などは最も下位に置くべきであると論じた又十六世紀から十七世紀にかけて經濟上政治上全般に亘る改革に依つて生れた社會の窮迫はサー、トーマス、モーアの『ユトピア』とかカムパネラの『日の國』等の著書を現はしたのである（六）コールローン、コールマネー は貸手は何時にても返濟を請求すること借手は何時にても返濟することが出來る借金も又何時にても返濟する事が出來る貸付金で利息を附くれば前者は當座貸後者は當座借として謂ふべきだが普通は原語の儘通用してある、大正五年七月改正の銀行條例施行細則に依ればコールローンは銀行の資產勘定にコールマネーは負債勘定に屬すべきものと明定されてある（矢野生）

夜中の灯



▲此の間京○線某驛に下車した際に果物を買ひに行つた處驛前に裸の男女あり之が驛長夫婦とは驚いた聞けば品性劣等で地方の鼻つまみだそうな殊に鮮人は之を土方驛長だといつて毛虫の如く惡んで居るとは一寸聞いたまゝを（注進生）▲綺譚愛す人に告ぐ僕の樣に綺譚を愛する者は少いでせう京城は淋しく方は全く乏しいようです五年以前に『少年詩譚展覽會』として諸々の少年が出品しましたが一つやりなさつて如何（美生）▲素人で出來る必らず入選の取れる方法を御存じの御方は當欄で何卒お教へ下さい（元英連女）▲以前より岡田式靜坐練習希望を有し若書等に據り獨習して居るも要領を得出來ざる如くにて不安に堪へず京城にて適當の指導者又は同志者の團體あらば本欄にて敎へて下さい（切望生）▲廿七日午後三時頃本町二丁目（商品陳列館へ入口阪道）に於て六十近き一老母が（多分起重酪子召使ならん）が風呂敷包を抱き本町筋へ出んとする途中其側より一鮮人突然粉砂を老母の眼面に打掛け其隙に乘じ風呂敷包を引摑ひ逃走せり老母に對し甚だ氣の毒一方惡むべき右の者なり御面倒乍ら全文を掲け讀者に注意を與へられたし（實見生）

歐洲新鑑録想

ポーランド、ウクライナ等過激[illegible]たる情報を基礎として其勢力を[illegible]せば過激[illegible]は恐らく百四十一[illegible]

佛國 本年度の植付反別は[illegible]十一萬[illegible]の少額に過ぎざりし[illegible]したれば千萬噸は期待[illegible]

舊墺匈國 [illegible]利チェッ[illegible]六十六萬八千二百五十噸に激減[illegible]利の一部なりしボヘミヤは[illegible]大過なかる可からず

露國 露國はポーランド[illegible]舊態に復す昨年度の植付反別並[illegible]

皮黴科專門 外科 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二一五八番

京日案内

普通一回前金廿十錢（呼名毎回二十錢增） 番外一回前金壹圓二十錢 ▲六回以上の申込は料金不返戾 ▲申込後中途掲載中止は特に定期引の事 ▲照會は返信附に非ざれば回答せず

◆事務員入用 年齡三十前後希望者來談あり度し 本町二ノ九八 電話二三三 京城劵番

◆女中入用 年齡十七歲以上の方は電話三四四番 池田へ

店員募集 年齡十五歲以上二十八歲迄 中學又は商業學校卒業程度の者 市内に保證人を要す本人來談 仁川 堀商會

派遣看護婦募集 滿洲奉天江ノ島町九番地 瀋陽看護婦會 會長 谷本眞代

柳行李革鞄專門 京城本町三丁目 電話二四八二 但馬屋

恩給立替 金は證書引換に御渡可致候 地方は規定書送呈◆電話二〇〇番 京城若草町郵便ポスト前 西村商會

●ほねつぎ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

社員高給招聘 内外勤 志望者履歷書携帶來談 地方郵送 京城黃金町二丁目 有隣生命 朝鮮支部

◆店員入用 希望者直接面談 京城本町二ノ六四 電一〇八五 友田米店

◎女中入用 高給にて雇入れたし 京城黃金町一丁目二一五番地 電話一七四八 川米商店支店

京城長湖院 間車開始 九月一日ヨリ 京城水標町電話二三八 松田自動車部

最新刊

書名	著者	定價	送料
朝鮮總督府編纂 朝鮮金石總覽 上下		六圓七拾錢	四拾五錢
賃金甘藷農業	島原重夫	一、五〇	一二
社會及社會問題研究	平沼	一、八〇	一二
速記學講義	松崎平策	二、三〇	一〇
向陵三年	山岡柏郎	一、四〇	一〇
生命と生	歌川村多賀二	一、六〇	一〇
激浪の中を行く	與謝野	一、四〇	一〇
ひみつ	近松秋江	一圓二十錢	六
白樺同人脚本集	有島外	一、五〇	一〇
夢のふる街	竹久夢二	一、三〇	一〇
前の江戸時代	小池原	一、五〇	一〇
現代智識階級運動と成金とデモクラシー	米田庄太郎	一、八〇	一〇
國民哲學建設	田中王堂	一、五〇	一〇
朝鮮總督府編纂 朝鮮圖書解題		二圓七拾錢	二十七錢

京城本町一丁目 大阪屋號 電話六〇四番 振替京城二五七番

金牌受領 男女頭髮用 椿本ポマード 本椿香油 毛を黑く長くつやを出し 亦毛くせ毛ぬけ毛折毛を防ぐ事妙 本舖 大阪西横堀 三宅堂

宮內省御用 TS TRADEMARK 水道布設 煖房裝置 衛生設備 諸園藝喞筒据付 工事設計 請負 附屬材料輸入 製作販賣

須賀商會大連出張所 大連市監部通二丁目（露亞銀行前） （本店）大阪 （支店）東京 （出張所）名古屋・京都・住吉・神戸・多田・京城・青島・奉天 工作所……東京 大阪 神戸

ろいれき ゲリゲリが首節耳の下胸に出來永年困る人も美しく癒らる傳來の妙藥 寺の事故當業でなく病人助け 往復ハガキ申越スグ知らす キラズ 播州明石郡玉津村 清水寺

りん病 はい毒 三日全治 百圓進呈 歐米醫科大學帝國大學病院 大阪市

●あらゆる治療をすも一向効きめの出ぬ病人は一度來談あれ 分析料百圓進呈 にせ物あり 大阪 有田 取る勿れ

有田ドラッグ京城本部 京城南大門外停車場通 有田ドラッグ 京城黃金町三丁目電車通 電話二八三三番

有田ドラッグ支店 龍山驛兵場前 釜山大廳町三丁目 元山本町三丁目 平壤橫町十二番地 仁川宮町三丁目 大連浪速町

◉朝鮮のにせ物 京城・龍山・仁川等各地ににせドラッグあり購着せらるゝ樣御注意を乞ふ 調合藥局 施藥店 販賣許可 全國の都市に支店あり

大阪心齋橋筋 東京日本橋通四 有田ドラッグ

適應症候

一頭が重く或は痛く頭內が朦朧とする人
一眼が疲れ易い人
一逆上せて耄予となる人
一眠らうとしても眠れぬ人
一眠れて惡い夢を見たりする人
一些細の事を氣に懸ける人
一何事にも怒り易い人
一悲しい事も無いのに泣たい人
一精神の鬱々する人
一何事も悲觀して厭世的になる人
一物事を深く考へる事の出來ぬ人
一物事の理非判斷の出來ぬ人
一物事の記憶の不良なる人
一雜念頻りに起し集注の出來ぬ人
一神經衰弱に罹つて居る人
一血の道に罹つて居る人
一淫慾や遺精で悲觀する人
一腎臟病に苦しむ人
一産前産後又病後の衰弱を防ぎたい人
一勉學をして直に疲れる人
一勞働をして疲れ易い人
一精神の疲勞を早く治したい人
一筋骨の疲勞を速かに癒したい人

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 / 500 tablets ¥ 2.00
This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochondria, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertion.

實驗的研究に依て効力を確認せられたる ミツワ人參錠

主治 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退

效能 ミツワ化學研究所に於ては、豐富なる學識と精密なる實驗とに依り、滋養人參を系統的に研究し、鎭靜、催眠、利尿、强壯等の諸作用を呈することを證明せり、ミツワ人參錠は該研究を基礎とし、合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、及び是等の疾患に發現する諸症候、即ち精神興奮、精神過勞、意志薄弱、讀書計算不能、思考力判斷力記憶力減退、不眠、不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精、陰萎等に對して偉効を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫、其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、瘰癧、梅毒、神經病、消耗病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に榮養不良を回復して、體力を增進し、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

定價 百錠入金五拾錢 五百錠入金貳圓 內地以外は稅運賃を加ふ

ミツワ石鹼

凡そ石鹼は工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而も皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊里の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは素より當然のことなりとす

皮脂の分泌量多くして而かも粗造なる本邦人の皮膚及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て其適否を論ず可ず

ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず尚左の性狀を具備す

一原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず
一溫雅の芳香を有す
一細き泡沫を生じ適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而も浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし。

故に、一般の家庭に於ける浴室、化粧用として衛生に適ひ經濟に合する理想的實用品なり。

（現品縮寫圖）

種類	定價
大形	金貳拾五
中形	金拾八
小形	金拾貳
極小形	金六
水石鹼	金參拾五

內地以外は關稅運賃を加ふ

本舖 ミツワ家庭藥 ミツワ規那鐵葡萄酒 ミツワ人參葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品

發賣元 東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、洗滌品、石鹼、香粧品、小間物問屋 登錄商標 丸見屋商店 電信略號〇ミヤ 振替口座東京七一〇番 電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇・三〇〇〇番